

SPT - 8T・8TE

キー式6回路プログラムタイマー取扱説明書

目 次

取付・配線上の注意	P.1
プログラムタイマーの運転方法	P.2
停電の時	P.3
プログラムの設定	P.3
その他	P.26
プログラム設定表	P.27
仕様および各部の名称と機能	P.30
索引	P.31

このたびは、弊社のプログラムタイマーをお買上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、機能を十分活用してお使いください。

本機の結線および取扱いについては、「各部の名称と機能」を参照しながら行なってください。〈P.30〉

1. 取付、配線工事上の注意

1-1 設置場所について

日光の直射を受けず、振動、ほこりが少なく湿度の低い場所に設置してください。

1-2 扉の開閉について

扉の左側を手前に引くと開きます。

1-3 取付について

まず取付け所の強度が時計の重量にたいして十分であるか確認してください。

上部の1か所の取付穴に木ネジ（3.5mm φ）で確実に取り付け、中央の孔で振れ止めをします。
コンクリート壁の場合はウォールアンカー等をご使用ください。アウトレットボックスの塗代
カバーにボディービスで取り付けることは強度に問題がありますので、絶対にしないでください。

1-4 電源について

AC100Vの入力電源は消灯されることのない、常夜灯回路を使用してください。

1-5 接地（アース）について（アース端子は④）

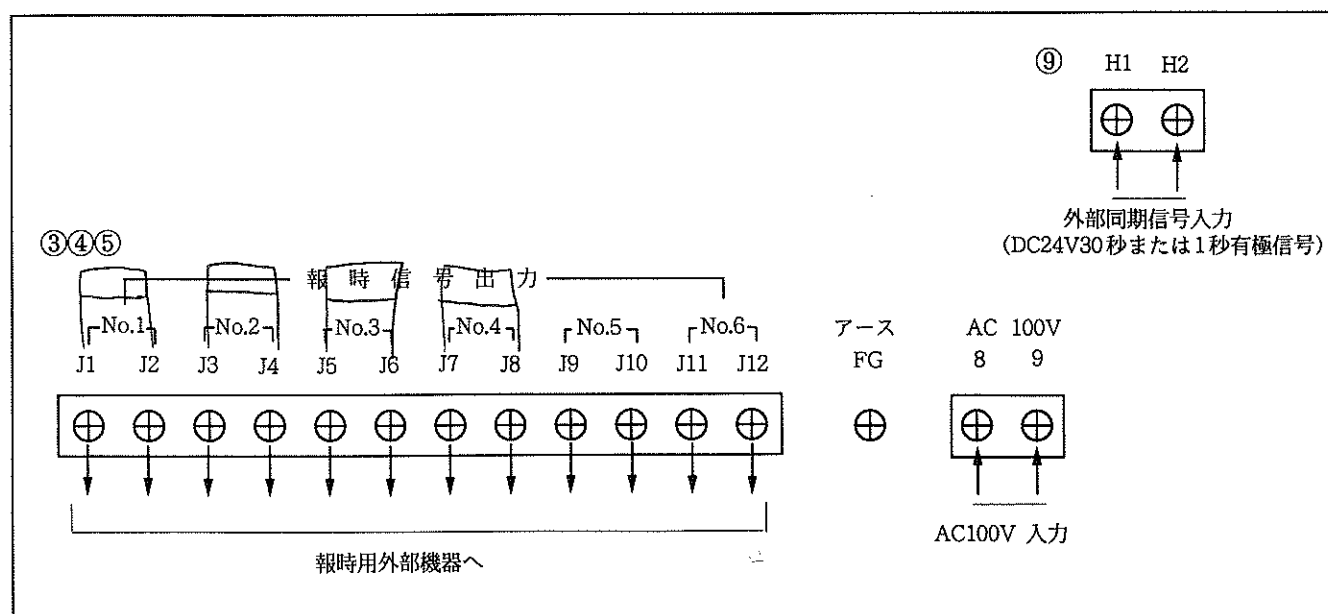
接地工事を行うことにより対雑音対策は向上しますが、安易に他の電力機器と共通のフレーム
グラウンドを行なった場合は、その電力機器の干渉により時計の精度に悪影響を与えることもあり
ますのでご注意ください。

1-7 絶縁試験について

プログラムタイマーに接続されるラインの絶縁試験は、配線を出力端子より切り放して行なって
ください。接続したまま絶縁試験を行なうとプログラムタイマーが破損します。

1-9 結線について

下図により確実に接続してください。



《注意》報時信号出力回路について

①負荷容量

6回路とも AC125V 2A (抵抗負荷) です。2A をこえる負荷容量の場合は、必ず電磁開閉器または電磁接触器を併用してください。

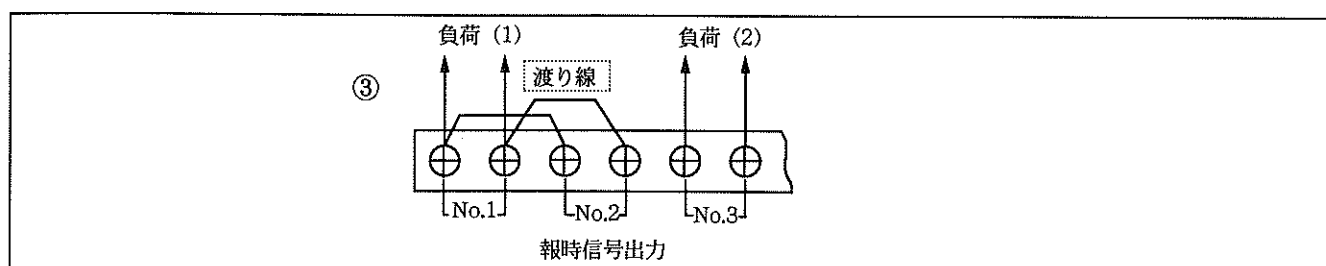
②出力の信号

6回路とも無電圧メーク信号です。

③結線要領

6種類の負荷を制御する場合は、各々の負荷を「No.1～No.6」までの端子に結線します。

「特殊」設定 (☑P.21) を行わずに、「通常・試験」または「1週間単位」でといった使い方の場合には、一つの負荷でも2回路以上使い、出力スイッチで切り替えることになります。この場合は、出力端子に渡り線をつなぎます。



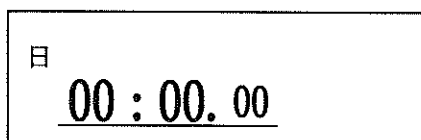
2. プログラムタイマーの運転方法

2-1 「設定キー」②で行ないます。

2-2 「AC電源スイッチ」⑥を「ON」にします。

「時刻表示部」①が右図のようにフリッカーしながら動き始めます。

設定キーの「切換」を「常」側にし、「時刻／時計」をおしたまま、「曜日」(または「回路／時」または「消去／分」)をおすと、フリッカーが止まります。



2-3 デジタル時計を「現在時刻」に合わせます。

「時刻／時計」をおしながら

「曜日」をおします。

おすたびに「日」「月」「火」・・・と曜日が変わります。

「回路／時」をおします。

おすたびに「時」が1時間ずつ進み、おし続けると早送りします。

「消去／分」をおします。

おすたびに「分」が1分ずつ進み、おし続けると早送りします。

「秒」を合わせます。

「時刻／時計」と「設定／秒合せ」を「時報」と同時におします。

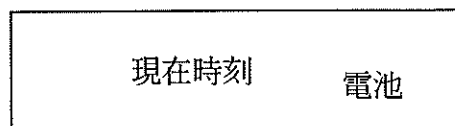
遅れている場合 (正時にたいして「-30秒～-1秒」) は、0.5秒の間隔で追いかけます。

進んでいる場合 (正時にたいして「1秒～29秒」) は、待機しています。

時刻合わせができない場合は、「AC電源スイッチ」⑥をいったん「断」にし、10秒待って「2-2」(☑P.1) からやり直します。

3. 停電の時

3-1 停電があると、「時刻表示部」に右図のように「電池」が表示されます。



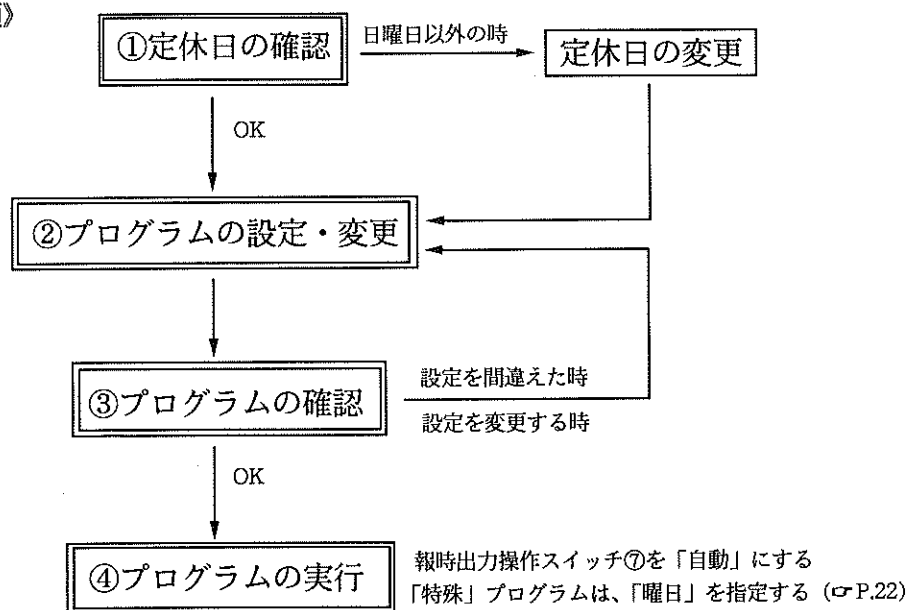
停電が復帰すると、「電池」の表示が消えます。

3-2 長時間の停電等で電池電圧がDC4V以下になると、すべての表示は消えますが、プログラムは約1週間メモリーされています。

この場合、停電が復帰しても、「時刻表示部」①はフリッカー状態になりますので、「2-2」(P.2)にしたがい「現在時刻」に合わせます。

4. プログラムの設定

《プログラムの入力手順》



4-1 プログラムの回路数および設定回数

・回路数は6回路で、設定回数は1週間を1分単位の6回路合計で「590回」(または同一回路に「590回」)です。

・各回路ごとに「15種類」の特殊プログラムを設定することができます。

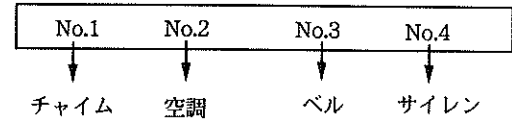
<設定回数の数え方>

・「報時」「チャイム」は、同一回路内は「設定時刻」を「1回」、「タイマ」では、
«「入時間」+「切時間」»を「2回」と数えます。

「特殊」は、回路設定に関係なく「設定時刻」を「1回」と数え、「くり返し」は設定回数には関係ありません。

・曜日の設定は各回路とも自由にできますので、設定回数には関係ありません。

・それぞれの負荷が右図の場合



設定回数	設定時刻	設定曜日	プログラムの種類と負荷
1	07:30	平日 (月火水木金)	「チャイム」-チャイム
2	08:00	平日 (月火水木金)	「チャイム」-チャイム 負荷が異なる場合は同一
3	08:00	平日 (月火水木金)	「報時」-空調 時刻でも2回と数える
4	08:30 (入)	毎日 (日月火水木金土)	「タイマ」-ベル
5	08:35 (切)	毎日 (日月火水木金土)	「タイマ」-ベル
6	08:45	毎日 (日月火水木金土)	「報時」-サイレン
7	09:00	平日 (月火水木金)	「チャイム」-チャイム

上記のように設定した場合は「7回」になります。

・プログラムの「残量数」の表示と確認

切換を**常**にし、**回路/時**と**1~6**を同時に押すと「時刻表示部」に表示されます。

例：SP-350 あと「350」回設定することができる

4-2 「時刻表示部」の各種表示例

設定キーの機能にあわせて「時刻表示部」に次のような表示が出ます。

表示は、次のキー操作があるまでの30秒間表示されますが、30秒間に次のキーの操作がなかったり、または**切換**を**常**にし**時計**を押すと時刻表示（現在時刻）に切り替わります。

SE-UP	設定または訂正・変更の終了です 「定休」「休日」「曜日」「吹鳴」等の操作の時、表示します
SP-○○○	「プログラム残量数」の表示です 例：「SP-350」あと350回設定できます
NO-SP	「プログラム残量数」の表示ですが、これ以上設定できません
END	「プログラム呼出」の終了です
C L	「プログラムの消去」終了です
00:00.00 (フリッカー)	「初期状態」(電源を投入した時等)の表示です
12345678 (フリッカー)	「回路」の選択モードです (7.8には設定できません)

日月火水木金土 (フリッカー)	「曜日」の選択モードです
00:00.00 (フリッカー)	「設定時刻」の設定モードです
吹鳴 00 (フリッカー)	「吹鳴」時間の設定モードです
特殊 0 (フリッカー)	「特殊」番号の設定モードです
定休	「定休」の設定モードです
休日	「休日」の設定モードです
報時	「報時」の設定モードです
チャイム	「チャイム」の設定モードです
入	「タイマ」の「入時間」の設定モードです
切	「タイマ」の「切時間」の設定モードです

4-3 プログラム設定キーの説明

切 換 プロ グラム／常	定休	休日	特殊	くり返し
☒	☐	☐	☐	☐
消去／分	報時	毎日	平日	全
☐	☐	7	8	9
回路／時	チャイム	木	金	土
☐	☐	4	5	6
曜日	タイマ	月	火	水
☐	☐	1	2	3
時刻／時計	吹鳴	日	切	設定／秒合せ
☐	☐	0	☐	☐

切換 プログラム／常・・・「プログラム」側で、プログラムの設定をします。

「常」側で、現在時刻の設定やプログラムの呼出（チェック）をします。

定休・・・週1回の休みを指定します。または定休の呼出をします。

自動的に「日曜日」が設定されますが、変更することができます。

休日・・・一週間以内に臨時休日や祝祭日等がある時、一時的にプログラムを休止させます。

特殊・・・試験や臨時授業等の「特殊プログラム」（15種類／1回路）を、通常のプログラムと同一回路に前以て設定することができます。または、その呼出をします。

プログラムを実行する時は、曜日を指定します。

くり返し・・・毎時同じ間隔の信号出力を設定します。またはその呼出をします。

消去・・・プログラムの消去や休日、定休日の変更等をします。または、現在時刻の「分」を設定します。

報時・・・「設定時刻」に「1秒～59秒」の幅の「報時」信号を設定します。

毎日／7・・・プログラムの曜日指定で、「定休日」に関係なく「全曜日」を指定、または数字「7」を入力します。

平日／8・・・プログラムの曜日指定で、「定休日」の指定が日曜日の時は、「月曜日～金曜日」を指定、または数字「8」を入力します。

全／9・・・プログラムの回路設定で「全回路」を指定、または数字「9」を入力します。

回路／時・・・プログラムの回路設定で「回路毎」の指定をします。または、現在時刻の「時」を設定します。

チャイム・・・「設定時刻」の前、「-1秒～-59秒」の幅の「チャイム」信号を設定します。

木／4・・・プログラムの曜日指定で、「木曜日」を指定、または数字「4」を入力します。

金／5・・・プログラムの曜日指定で、「金曜日」を指定、または数字「5」を入力します。

土／6・・・プログラムの曜日指定で、「土曜日」を指定、または数字「6」を入力します。

曜日・・・プログラムの「曜日」を個別に指定、または「くり返し」の「偶数信号」を指定します。または休日の呼出をします。

タイマ・・・「設定時刻」(入)に信号を入れて「設定時刻」(切)に信号を切る設定をします。

月/1・・・プログラムの曜日指定で、「月曜日」を指定、または数字「1」を入力します。

火/2・・・プログラムの曜日指定で、「火曜日」を指定、または数字「2」を入力します。

水/3・・・プログラムの曜日指定で、「水曜日」を指定、または数字「3」を入力します。

時刻/時計・・・プログラムの「設定時刻」を設定、または表示をします。

吹鳴・・・「報時」「チャイム」「タイマ」「くり返し」等の出力信号幅を指定します。

日/0・・・プログラムの曜日指定で、「日曜日」を指定、または数字「0」を入力します。

切・・・「タイマ」の「切時間」を設定、または「くり返し」の「奇数信号」を指定します。

設定/秒合せ・・・プログラムの「設定時刻」を設定、または「現在時刻」の0秒を合わせます。

4-4 曜日の指定

「曜日」の指定は次のようになります。

「毎日」・・・「定休日」の指定に関係なく、「日曜日～土曜日」

「平日」・・・「定休日」が日曜日の時は、「月曜日～金曜日」

「定休日」が日曜日以外の時は、例えば水曜日ならば「水曜日を除いた曜日」

「日」「月」～「土」・・・単独でその曜日

4-5 プログラムの設定

《設定時の注意》

- 後日の確認のため、必ずプログラム設定表を作成します。(P.35、36、37)
- プログラムの設定は、**切換**を**プログラム**にして行ないます。
- 同一回路内に「報時」「チャイム」「タイマ」「くり返し」を複数指定することはできません。
- プログラムの実行は、プログラム設定終了後、「約3分後」に行なわれます。
- プログラムの「設定時刻」は、時刻順に設定する必要はありません。
- プログラムの「設定時刻」を訂正・変更したり、追加した時は、その設定時刻はプログラムの頭に設定されます。
- 停電の時も入力することはできますが、プログラムの実行はしません。

4-6 プログラムの出力

・報時出力操作スイッチ

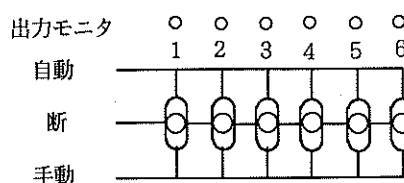
「自動」・・・「設定時刻」に自動出力します。

通常はこの位置にします。

「断」・・・出力しません。

「手動」・・・その回路に手動で出力します。

「出力モニタ」・・・プログラムが実行されている間、LEDが赤点灯します

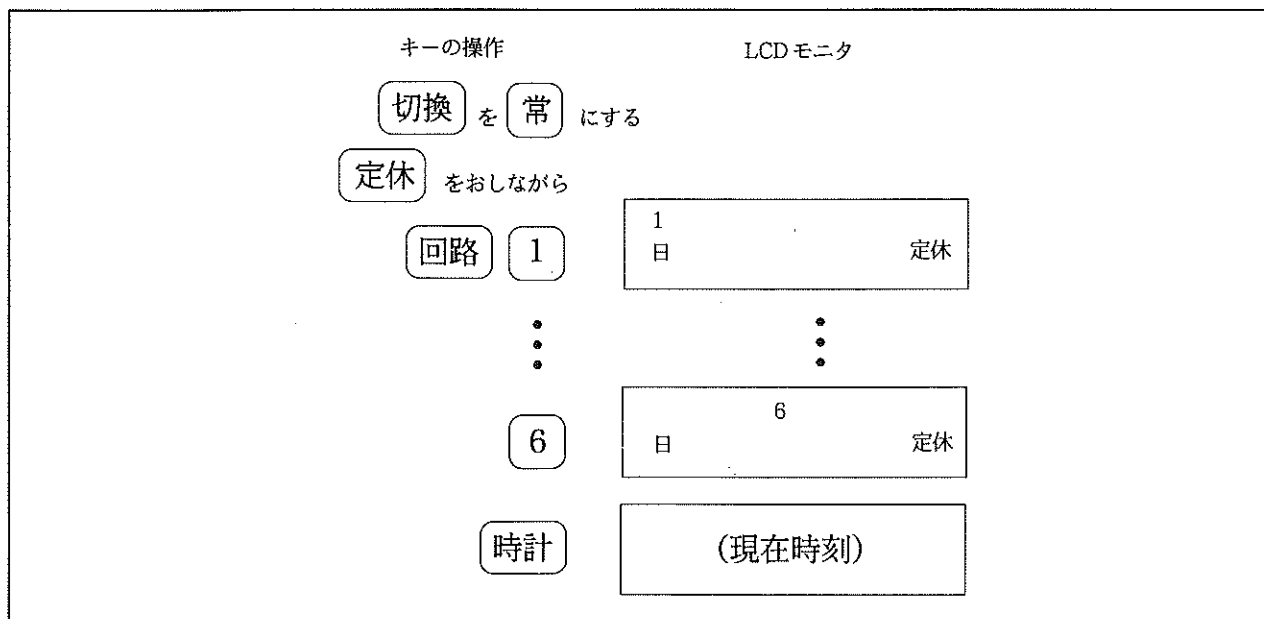


A.「定休」の確認および設定・変更

- 「定休日」とは週1回の休みのことで、自動的に「日曜日」が設定されます。
- 「定休日」を変更する場合は、プログラムを設定する前か、または変更する回路のプログラムをすべて消去してから行ないます。
- 各回路ごとに異なった曜日を1日「定休」指定することができます。
- プログラムを設定すれば、「定休日」指定に関係なくそのプログラムは実行されます。

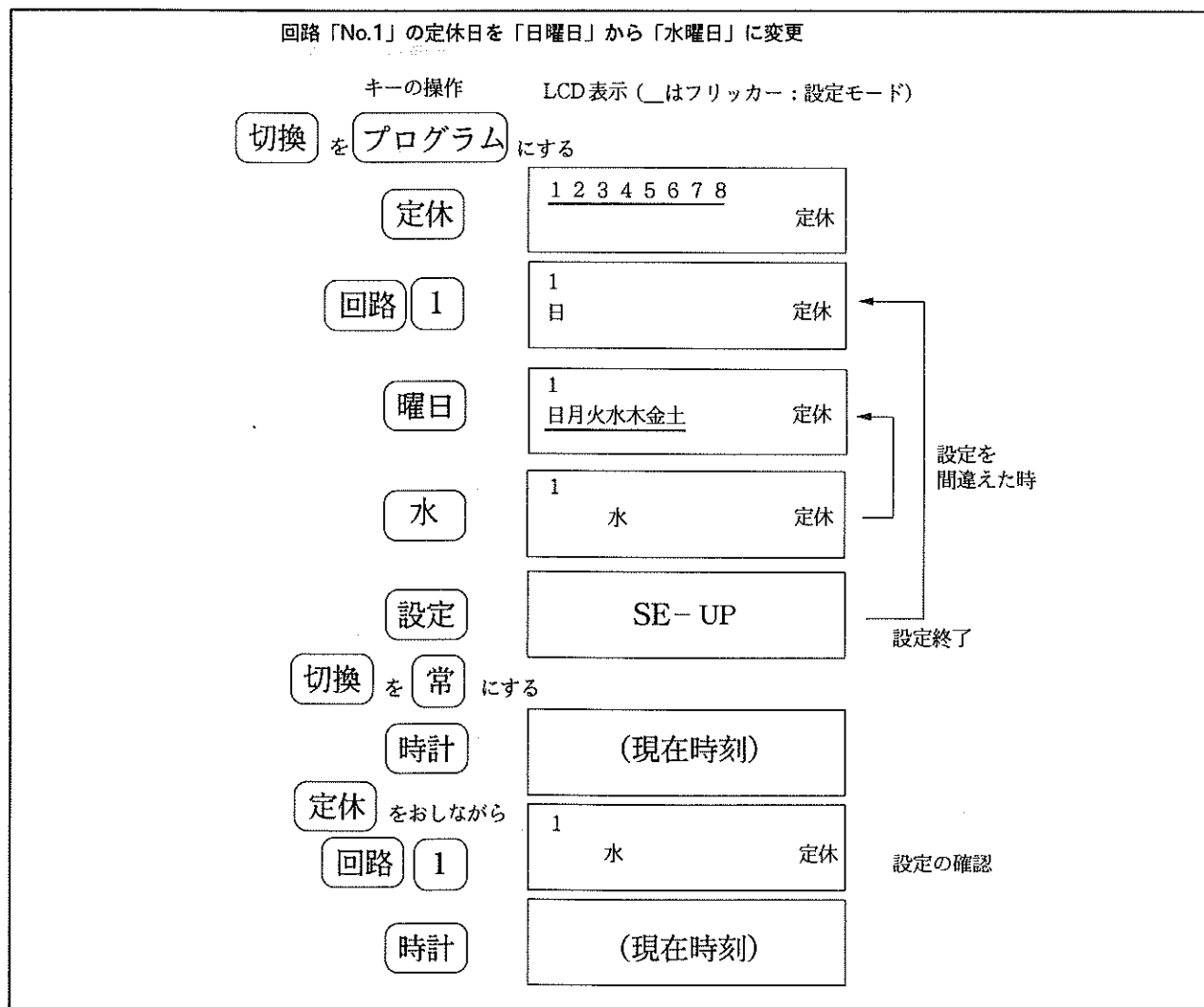
A-1 「定休日」の確認

自動的に「日曜日」が設定されます。



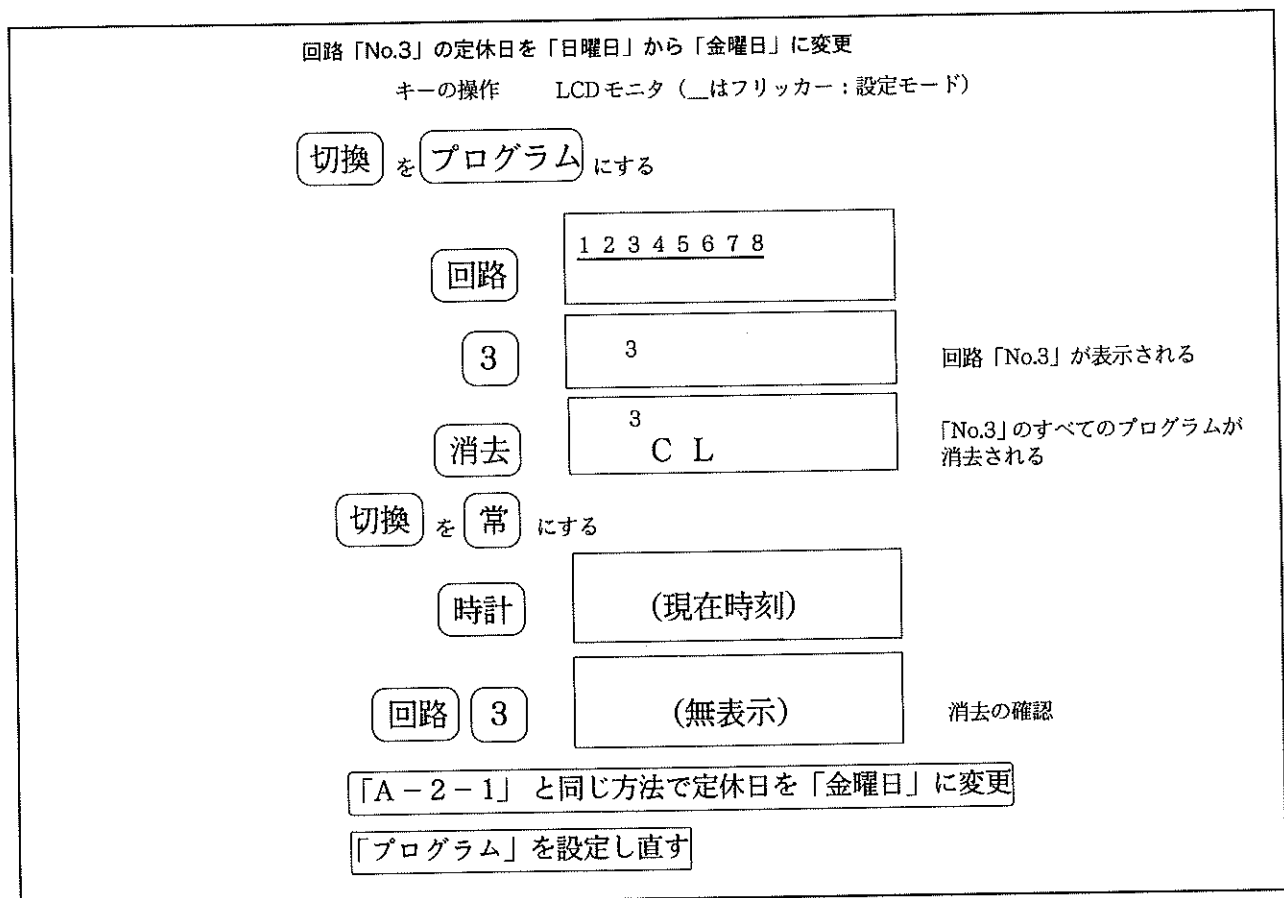
A-2 「定休日」の変更

A-2-1 プログラムがまだ設定されていない時



A-2-2 プログラムが既に設定されている時

設定されているプログラムを消去してから変更します。



B. プログラムの設定および訂正・変更と追加

B-1 「報時」

- ・「報時」とは、「設定時刻」に何秒間か信号を出力する時に使用します。その時間（吹鳴時間）は、「1秒～59秒」まで任意に設定することができます。
- ・同一回路の中では、「チャイム」「タイマ」「くり返し」との複数指定はできません。

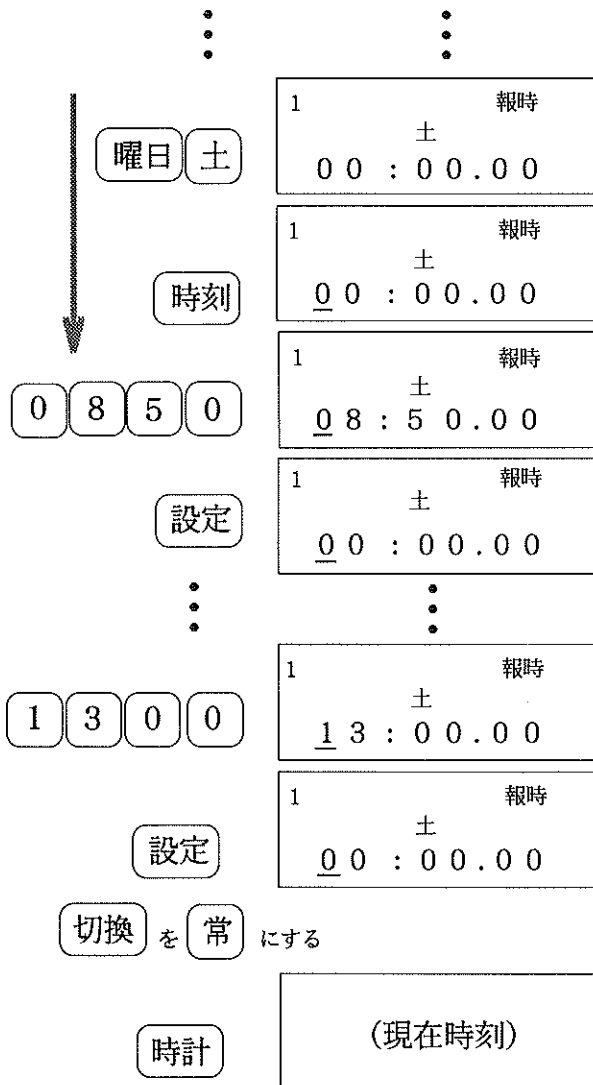
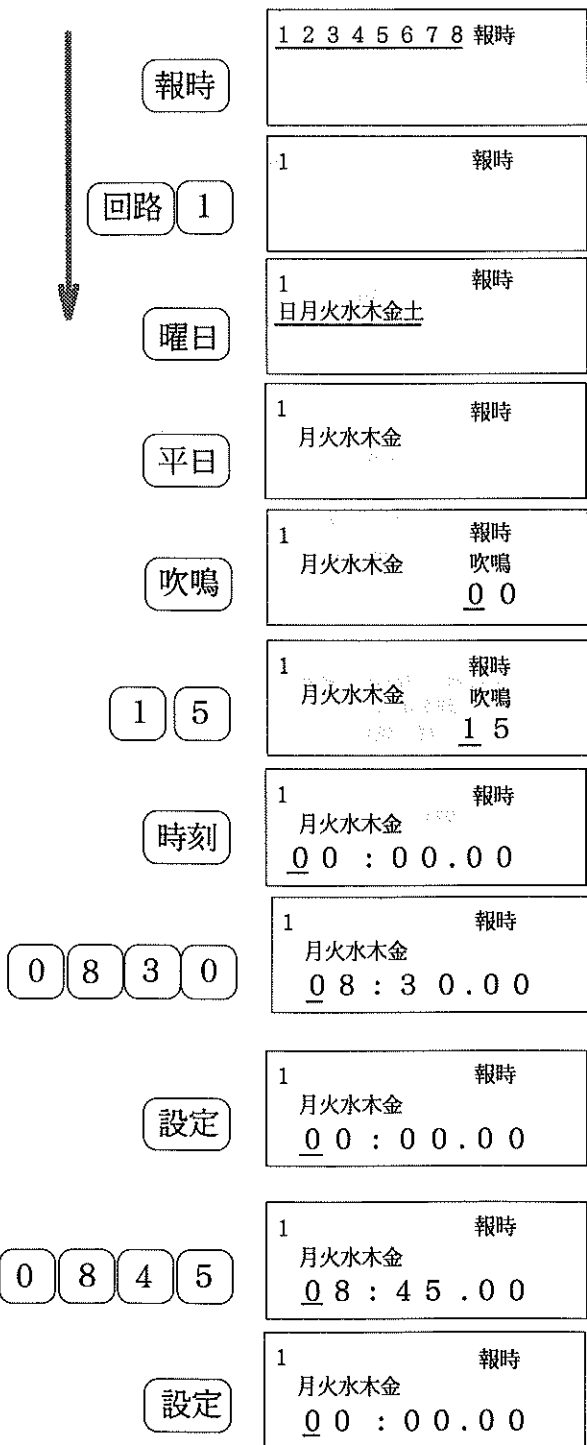
B-1-1 プログラムの設定

回路「No.1」に「報時」で、吹鳴時間「15秒」、「平日（月～金）8:30 8:45・・・」
「土曜日 8:50 ……13:00」を設定する場合

キーの操作

LCD表示（_はフリッカー：設定モード）

切換 を プログラム にする



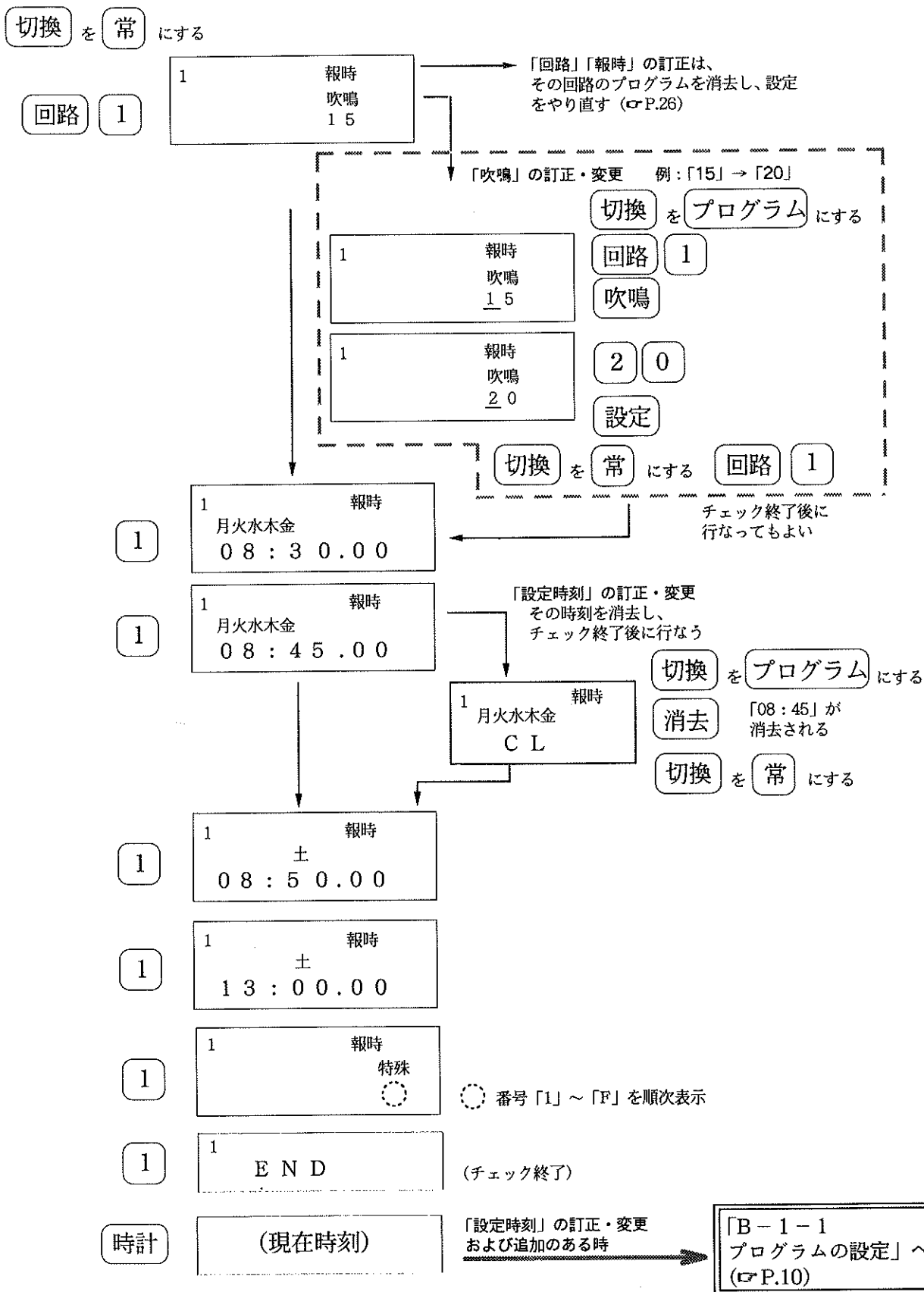
間違えた時、
すべてのプログラム設定を終了させ、
「B-1-2 プログラムのチェック」終了後に
訂正する (P.11)

B-1-2 プログラムのチェックおよび訂正・変更と追加

《B-1-1 の設定例で》

キーの操作

LCD表示 (_ はフリッカー : 設定モード)



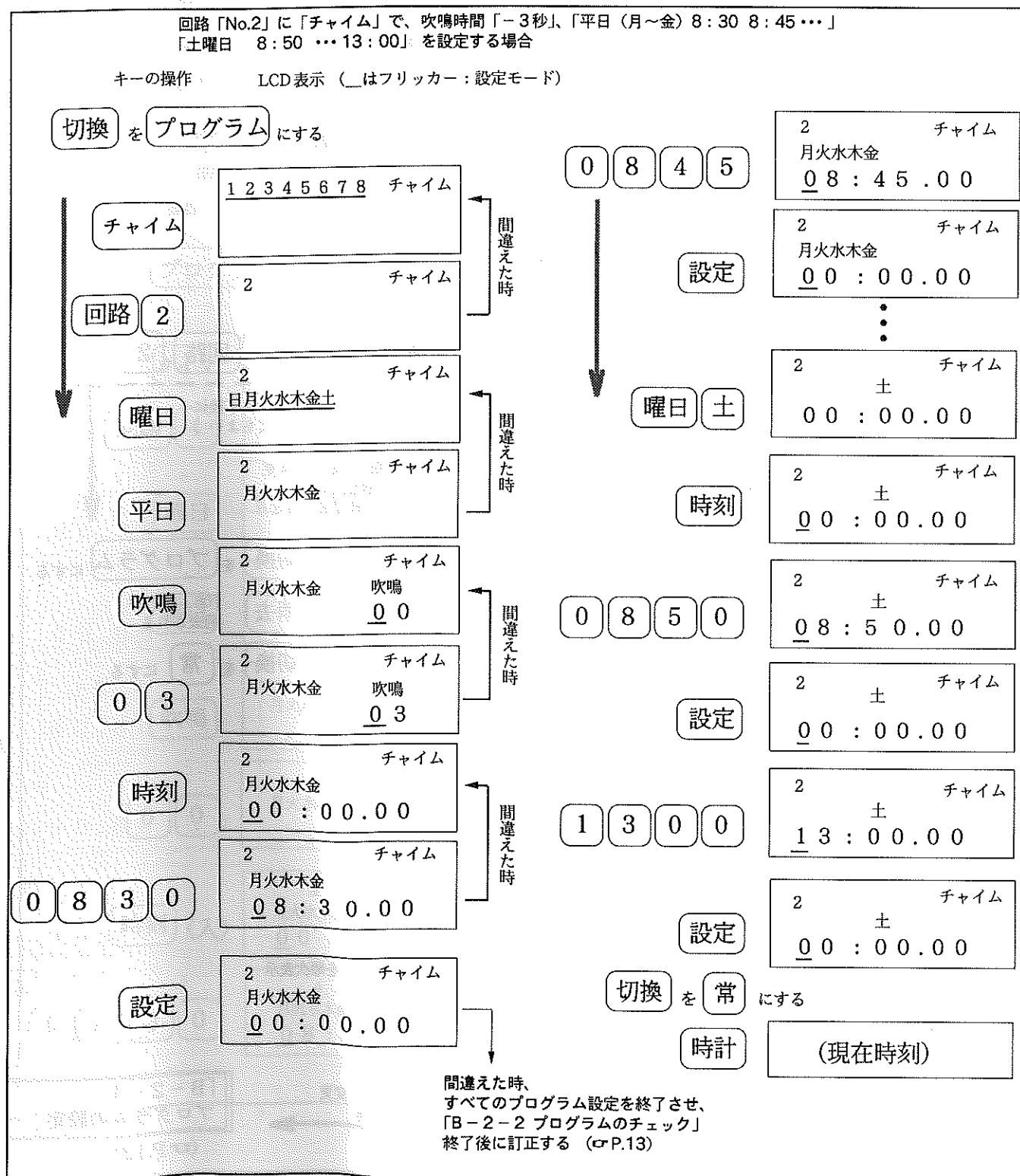
B-2「チャイム」

・「チャイム」とは、「設定時刻」の何秒間か前に信号を出力する時に使用します。その時間（吹鳴時間）は、「-1秒~-59秒」まで任意に設定することができます。

「電子チャイム」組込みの場合、「-3秒」に設定すると、「設定時刻」にチャイムが鳴り始めます。

・同一回路の中では、「報時」「タイマ」「くり返し」との複数指定はできません。

B-2-1 「プログラム」の設定



B-2-2 プログラムのチェックおよび訂正・変更と追加

《B-2-1 の設定例で》

キーの操作

LCD表示 (_ はフリッカー：設定モード)

切換 を 常 にする

回路 2

2 チャイム
吹鳴
-0 3

「回路」「報時」の訂正

その回路のすべてのプログラムを消去してから、設定をやり直す (P.26)

「吹鳴」の訂正・変更 例：「3」→「10」

切換 を プログラム にする

回路 2

吹鳴

1 0

設定

切換 を 常 にする

回路 2

チェック終了後に行なってもよい

2

2 チャイム
月火水木金
0 8 : 3 0 . 0 0

2

2 チャイム
月火水木金
0 8 : 4 5 . 0 0

「設定時刻」の訂正・変更
その時刻を消去し、
チェック終了後に行なう

切換 を プログラム にする

消去

「08:45」が
消去される

切換 を 常 にする

2 チャイム
月火水木金
C L

2

2 チャイム
土
0 8 : 5 0 . 0 0

2

2 チャイム
土
1 3 : 0 0 . 0 0

2

2 チャイム
特殊
○

○ 番号「1」～「F」を順次表示

2

2
E N D

(チェック終了)

時計

(現在時刻)

「設定時刻」の訂正・変更
および追加のある時

「B-2-1
プログラムの設定」へ
(P.12)

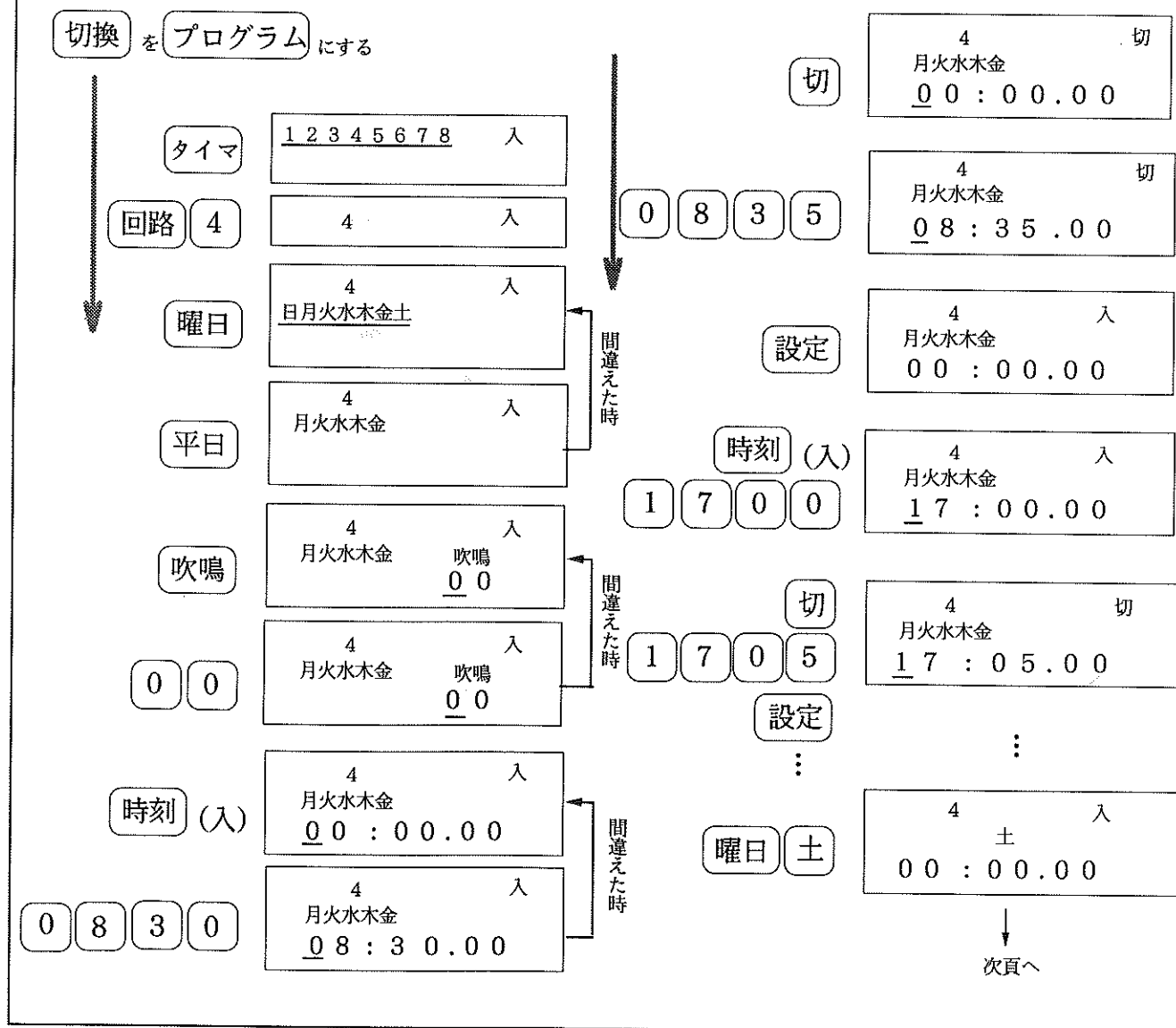
B-3「タイマ」

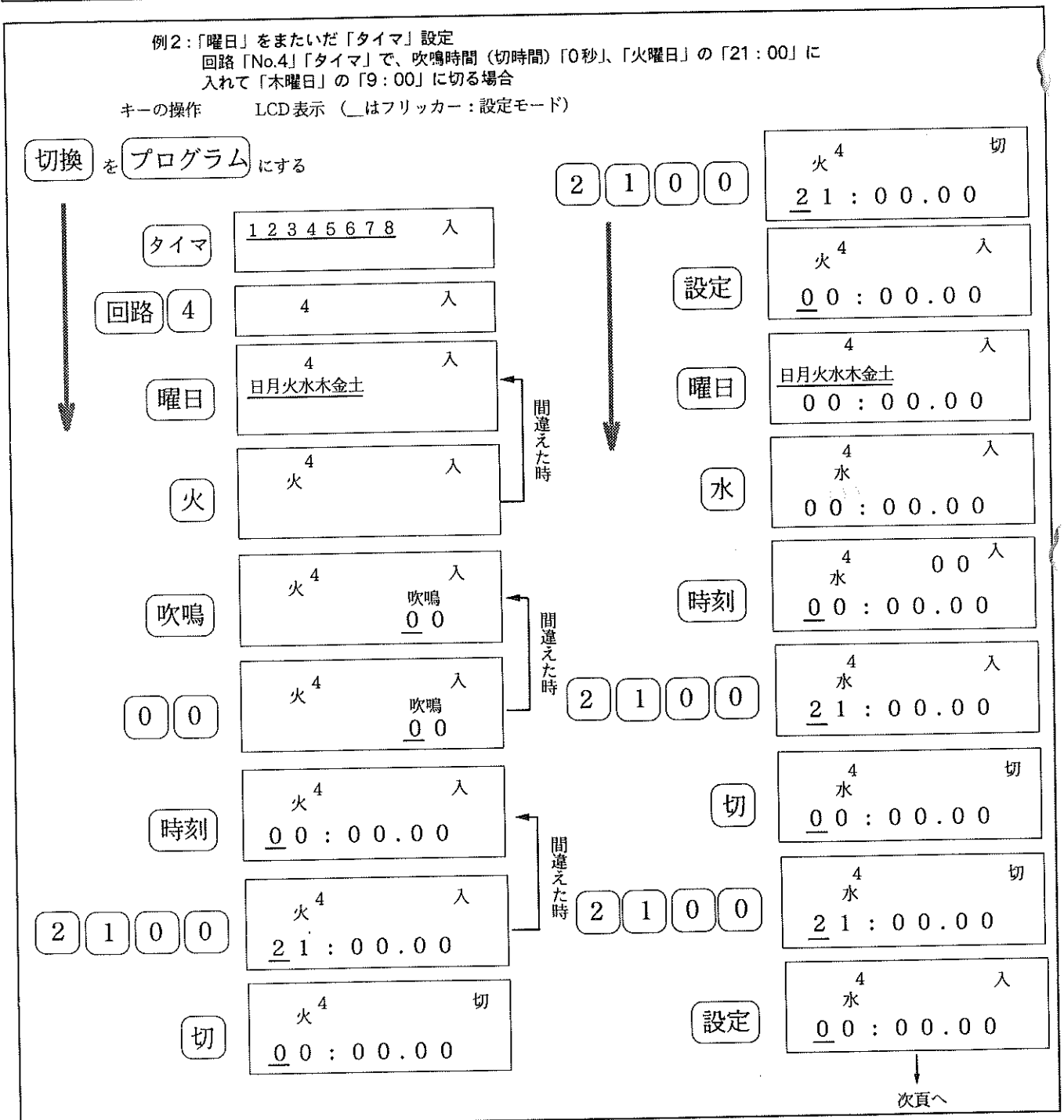
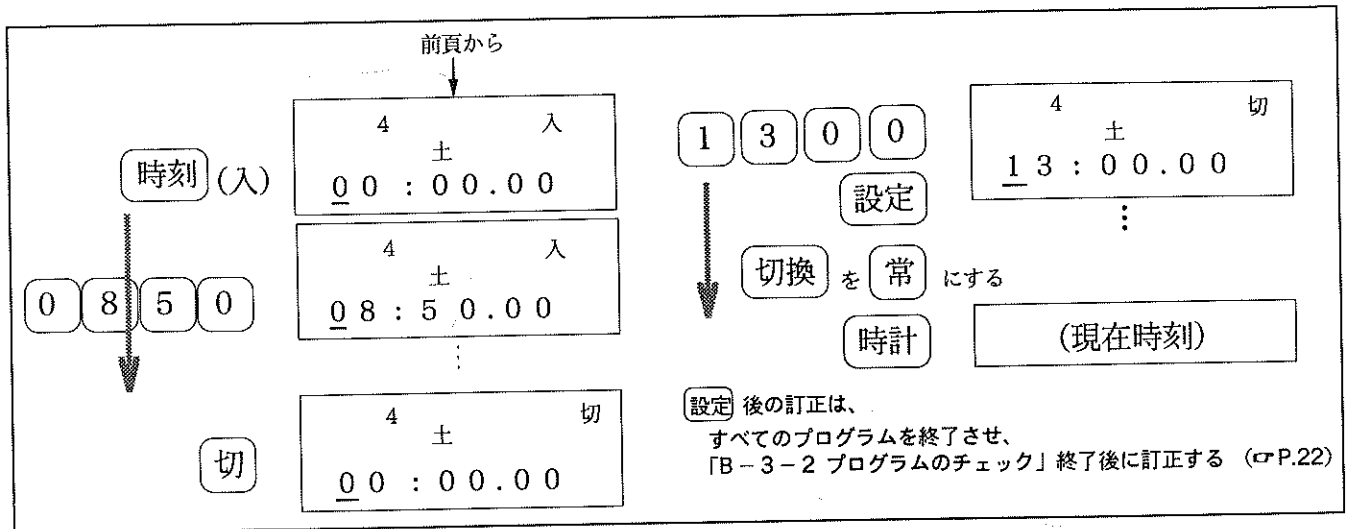
- ・「タイマ」とは、「設定時間」(入)に信号を入れて「設定時間」(切)に信号を切るような時に使用します。
- ・「入時間」と「切時間」は必ずペアで設定し、「切時間」については、1種類の秒単位の設定をします。
- 「秒」は「吹鳴」で設定します。(例:「00」=切時間の「0秒」、「30」=切時間の「30秒」)
- ・同一回路の中では、「報時」「チャイム」「くり返し」との複数指定はできません。
- ・点検中などで出力回路を一時的に「断」にする時、**「切換」を「常」にし「時計」と「その回路No.」を同時に**おすと、次のプログラム(または実行中のプログラム)は実行されます。

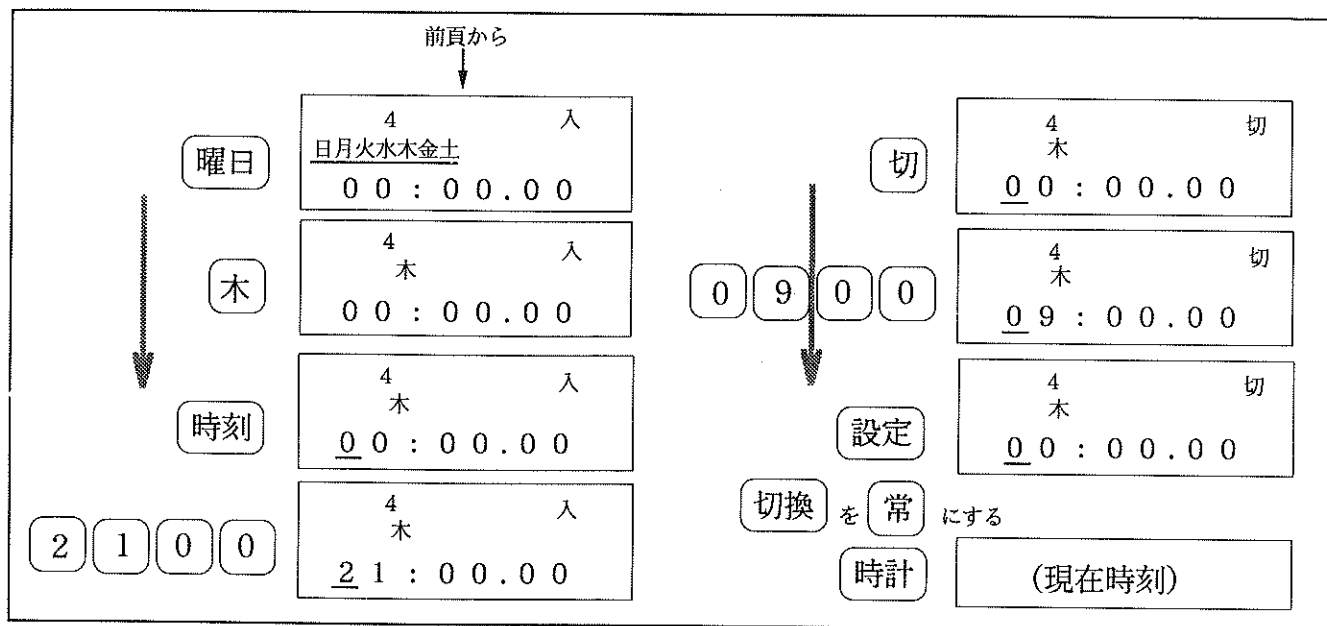
B-3-1 プログラムの設定

例1: 回路「No.4」に「タイマ」で、吹鳴時間(切時間の秒)「0秒」、「平日(月～金) 8:30(入) 8:35(切) ... 17:00(入) 17:05(切)」 「土曜日 8:50(入) ... 13:00(切)」を設定する場合
 注意: 「切時間」を設定したら必ず**「設定」**をおす。

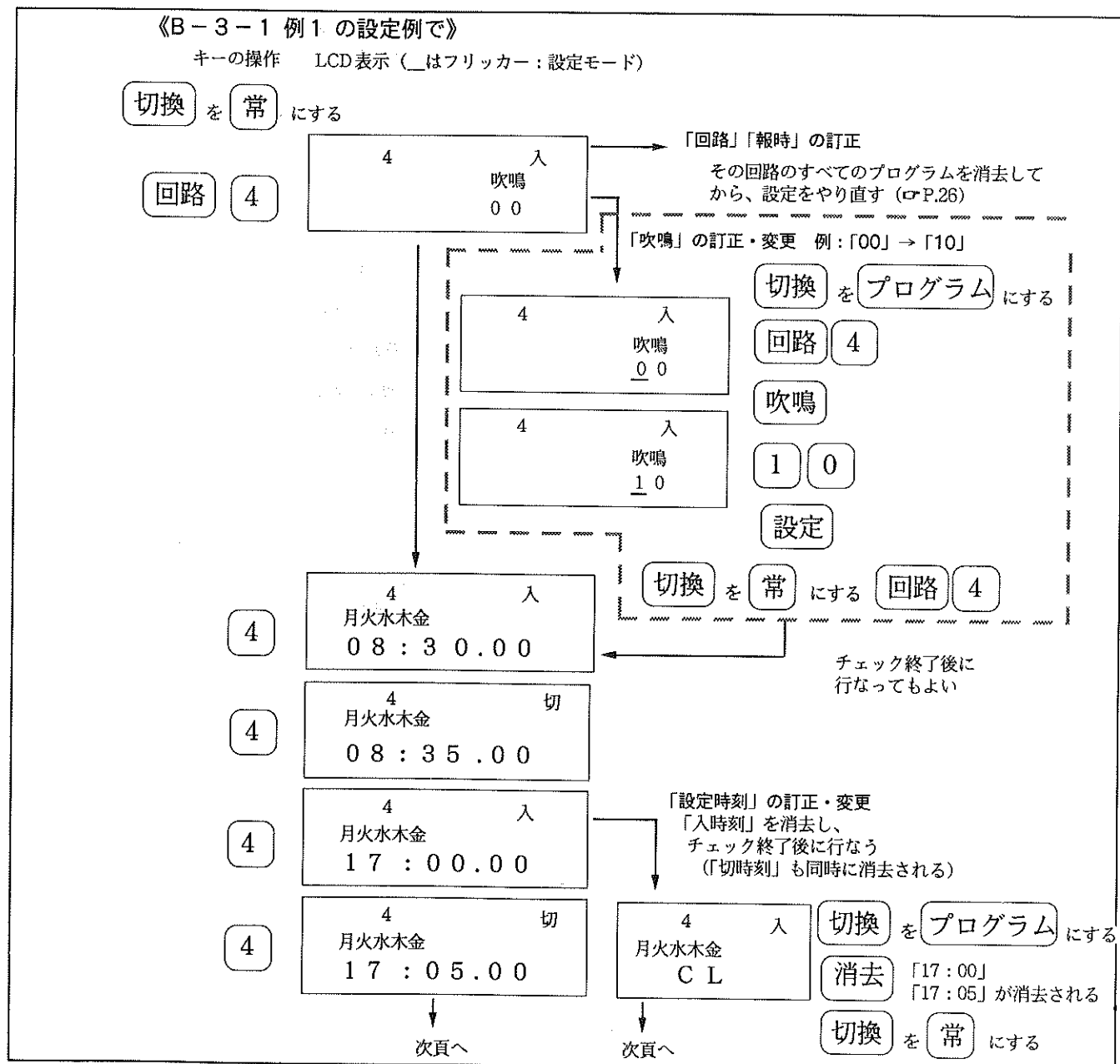
キーの操作 LCD表示 (_ はフリッカー: 設定モード)

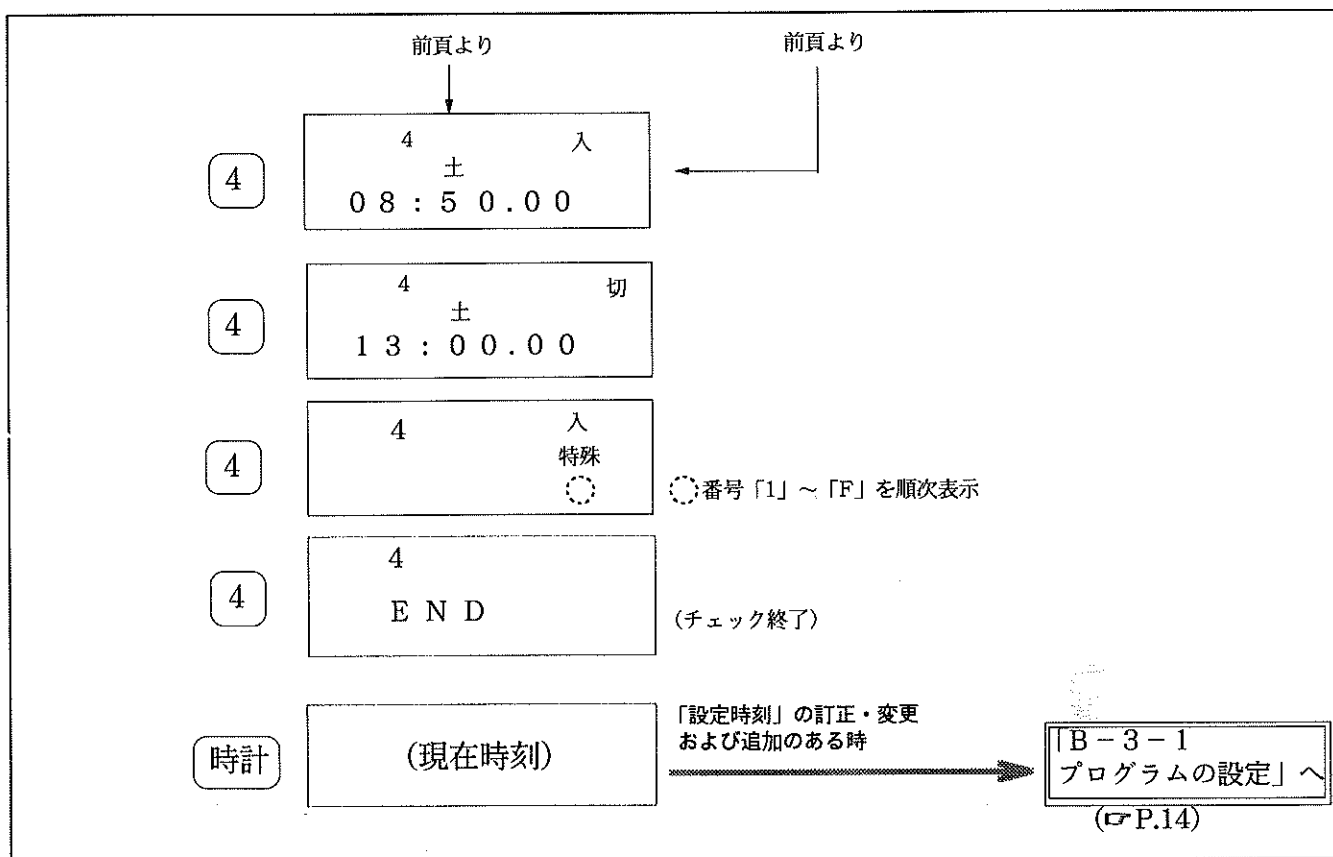






B-3-2 プログラムのチェックおよび訂正・変更と追加

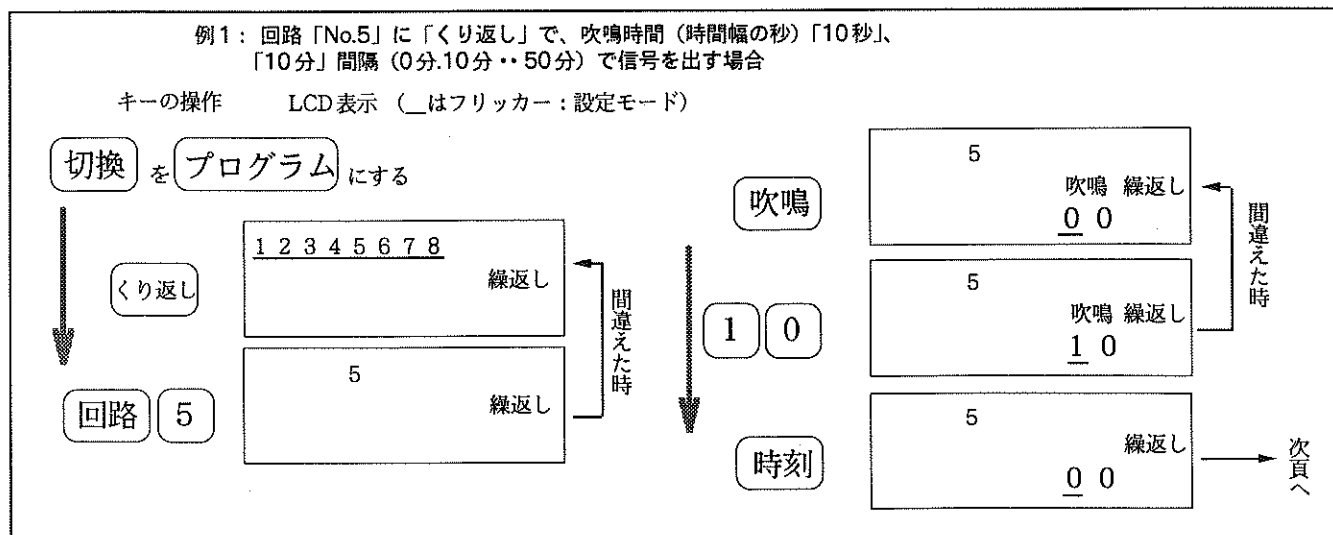




B-4「くり返し」

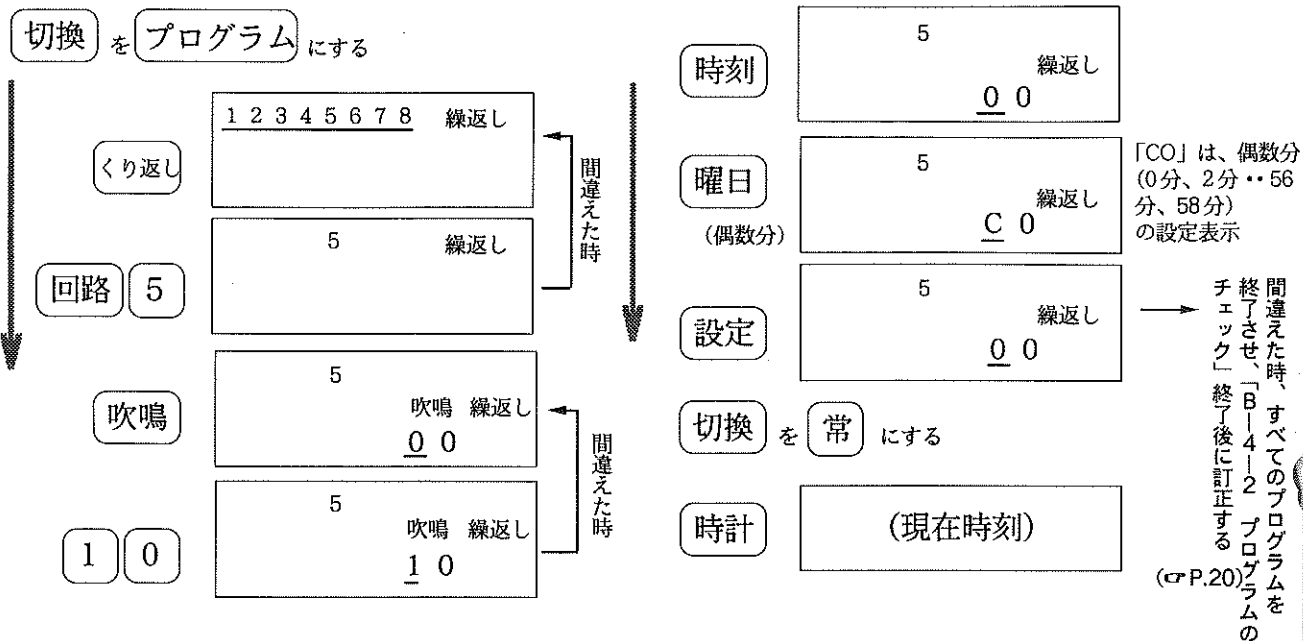
- ・「くり返し」とは、毎時間同じ間隔で信号を出力する時に使用します。
- ・時間間隔は、「5分単位信号」(0分、5分…55分)、「偶数信号」(0分、2分…58分)、「奇数信号」(1分、3分…59分)「偶数信号+奇数信号」(毎分)です。
- ・その時間幅(吹鳴時間)は、「1秒～59秒」まで任意に設定することができます。
- ・「くり返し」は、いくら設定してもプログラム設定数は「0」です。
- ・「時間帯」「曜日」「休日」の指定および「報時」「チャイム」「タイマ」との複数指定はできません。

B-4-1 プログラムの設定



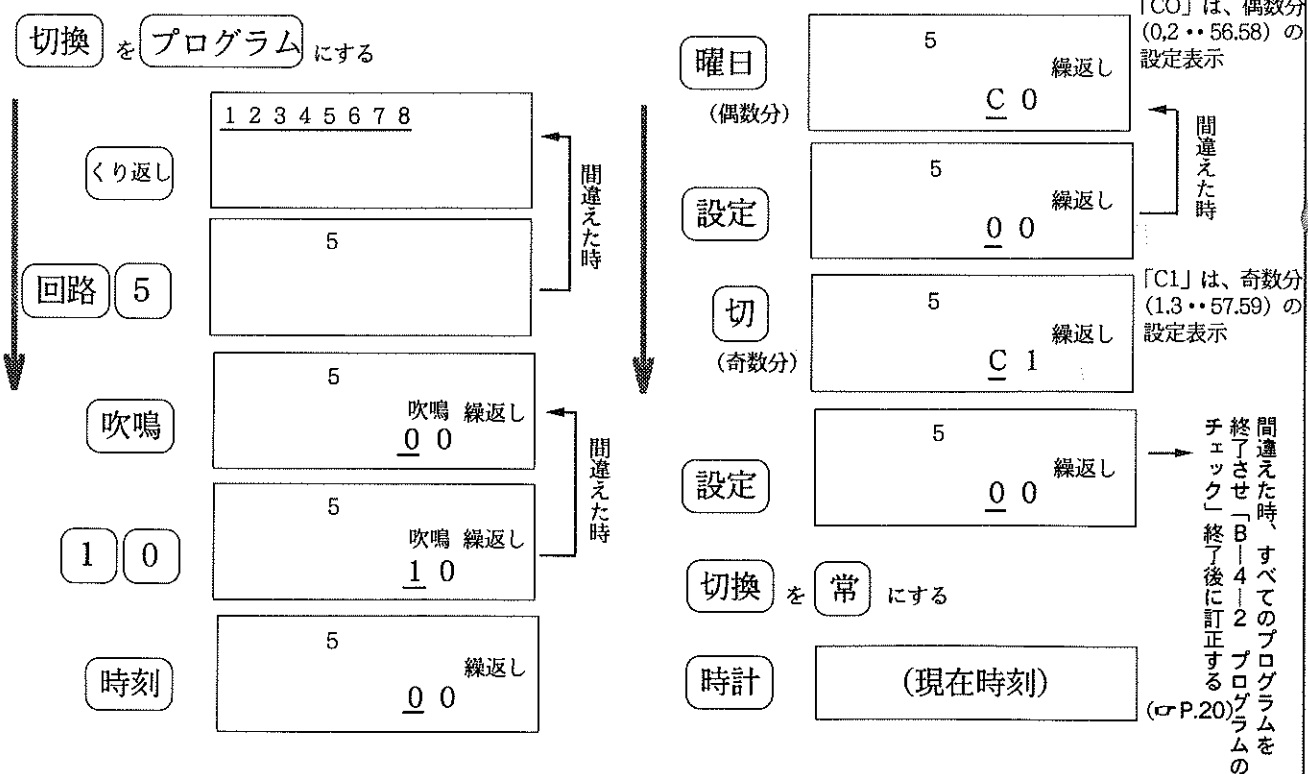
例3：回路「No.5」に「くり返し」で、吹鳴時間（時間幅の秒）「10秒」、
「2分」間隔（0分、2分、4分・・・56分、58分）で信号を出す場合

キーの操作 LCD表示（_はフリッカー：設定モード）



例4：回路「No.5」に「くり返し」で、吹鳴時間（時間幅の秒）「10秒」、
「毎分」（0分、1分、2分・・・58分、59分）で信号を出す場合

キーの操作 LCD表示（_はフリッカー：設定モード）



B-4-2 プログラムのチェックおよび訂正・変更と追加

《B-4-1 の設定例1で》

キーの操作

LCD表示 (_ はフリッカー：設定モード)

切換 を 常 にする

回路 5

5
吹鳴 繰返し
1 0

「回路」「報時」の訂正

その回路のすべてのプログラムを消去してから、設定をやり直す (P.26)

「吹鳴」の訂正・変更 例：「10」→「15」

切換 を プログラム にする

回路 5

吹鳴

1 5

設定

切換 を 常 にする 回路 5

チェック終了後に行なってもよい

5

5 繰返し
0 0

5

5 繰返し
1 0

5

5 繰返し
5 0

5

5
E N D

(チェック終了)

時計

(現在時刻)

「設定時刻」の訂正・変更
および追加のある時

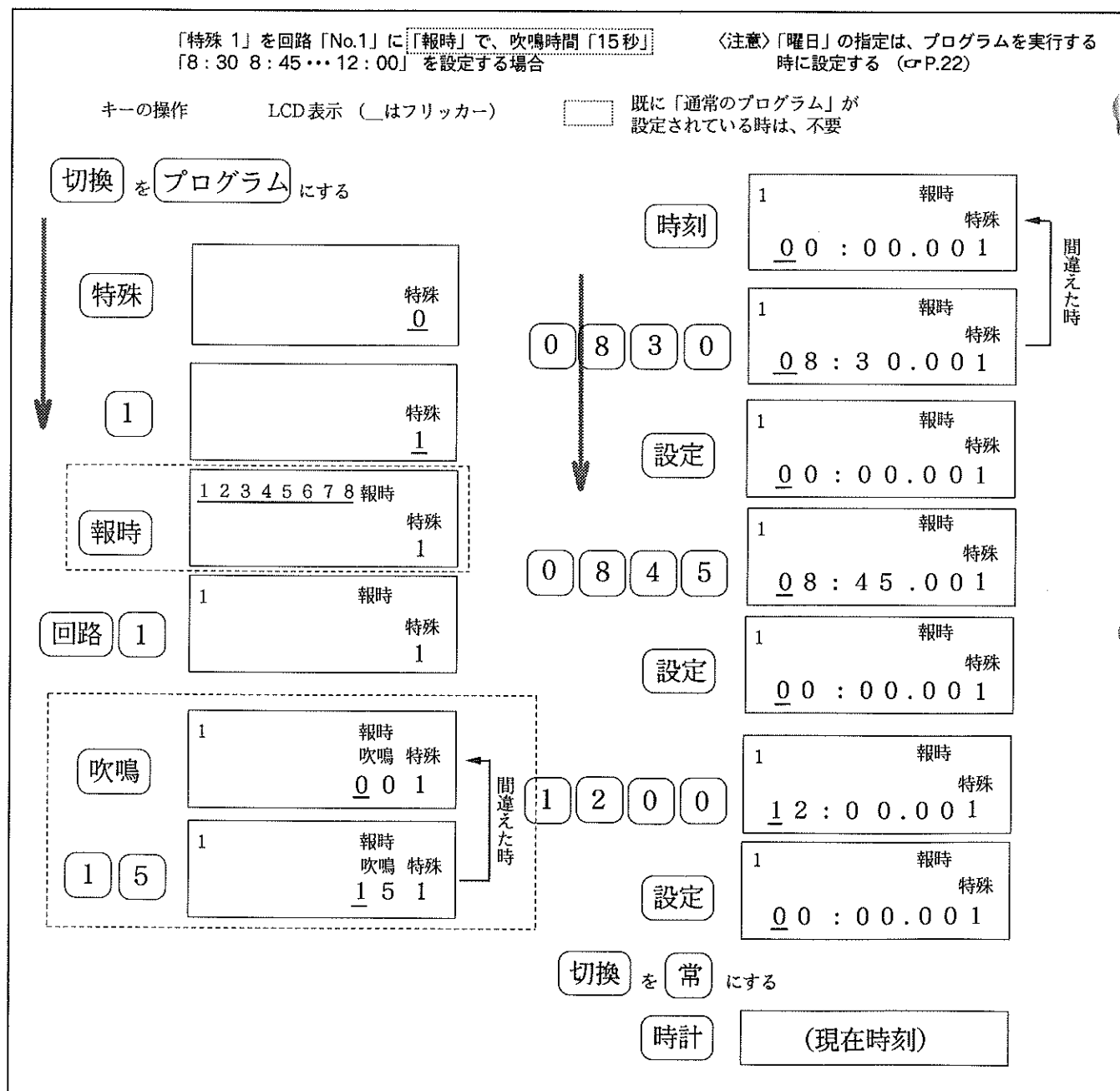
B-5「特殊」

- ・「通常のプログラム」のほかに、同一回路内に前以て「特殊」プログラム（例えば「試験用」や「臨時用」のプログラム）を「15種類」（6回路合計90種類）設定することができます。
- ・実行する時は、実行の1週間以内にその曜日を指定すれば実行され、その曜日を過ぎると自動的に「通常のプログラム」に切り替わります。
- ・回路設定に関係なく、「設定時刻」を「1回」と数えます。
- ・「特殊」番号のLCD表示

「1～15」の「特殊」番号のLCD表示の中、「10～15」は次のように表示されます。

「10→A」「11→B」「12→C」「13→D」「14→E」「15→F」

B-5-1 プログラムの設定

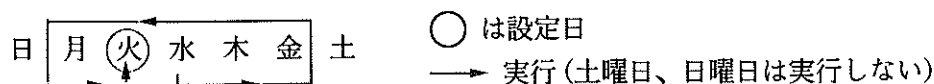


B-5-2 実行する「曜日」の設定

設定した特殊プログラムを実行する時は、「曜日」を指定します。

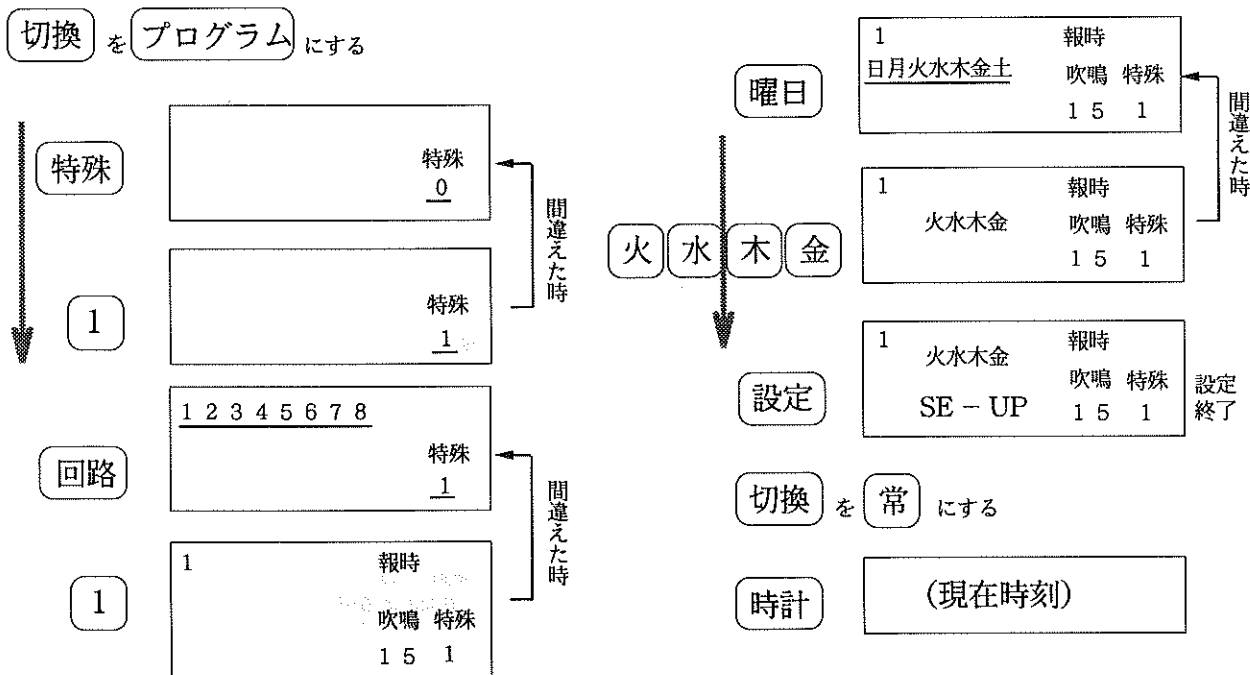
曜日の指定は、設定した翌日から一週間分指定することができます。実行されると、指定された曜日は自動的に取り消され、翌日から「通常のプログラム」が実行されます。

〈注意〉 「曜日」指定を「平日」（「定休日」は日曜日として）とした場合は



《B-5-1の例を「火、水、木、金」に実行する

キーの操作 LCD表示（_はフリッカー：設定モード）



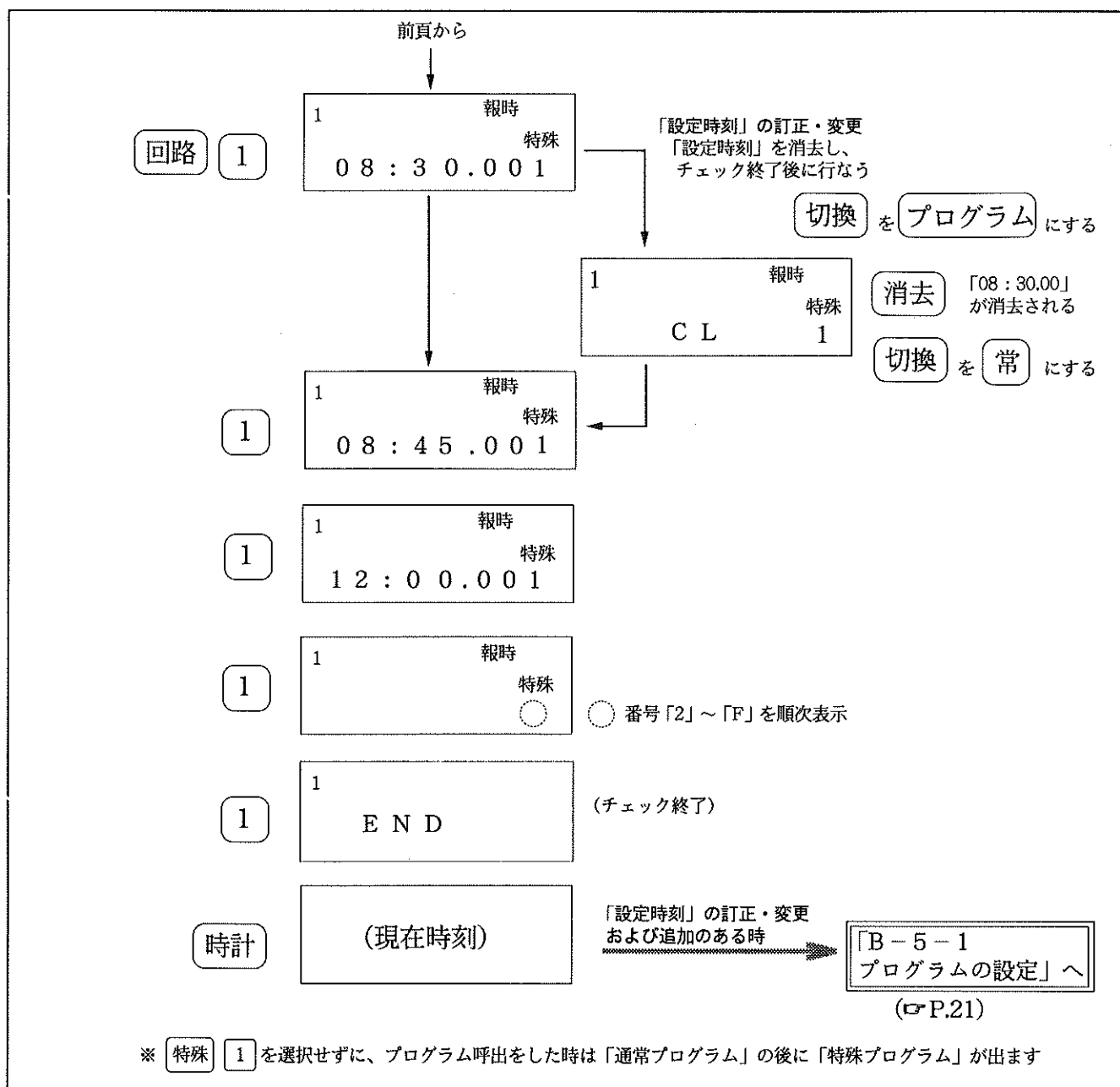
B-5-3 プログラムのチェックおよび訂正・変更と追加

《B-5-1の例で》

キーの操作 LCD表示（_はフリッカー：設定モード）

切換 を プログラム にする





B-6「休日」の設定

・「休日」とは、「臨時休日」や「祝祭日」等で、既に設定されているプログラムをその日だけ実行しない時に使用します。

その日を過ぎると、通常の曜日指定に切り替わります。

・設定する日の翌日から1週間以内の曜日を複数指定することができます。

・「タイマ」が下記のように設定され、「火曜日」を「休日」指定した時は

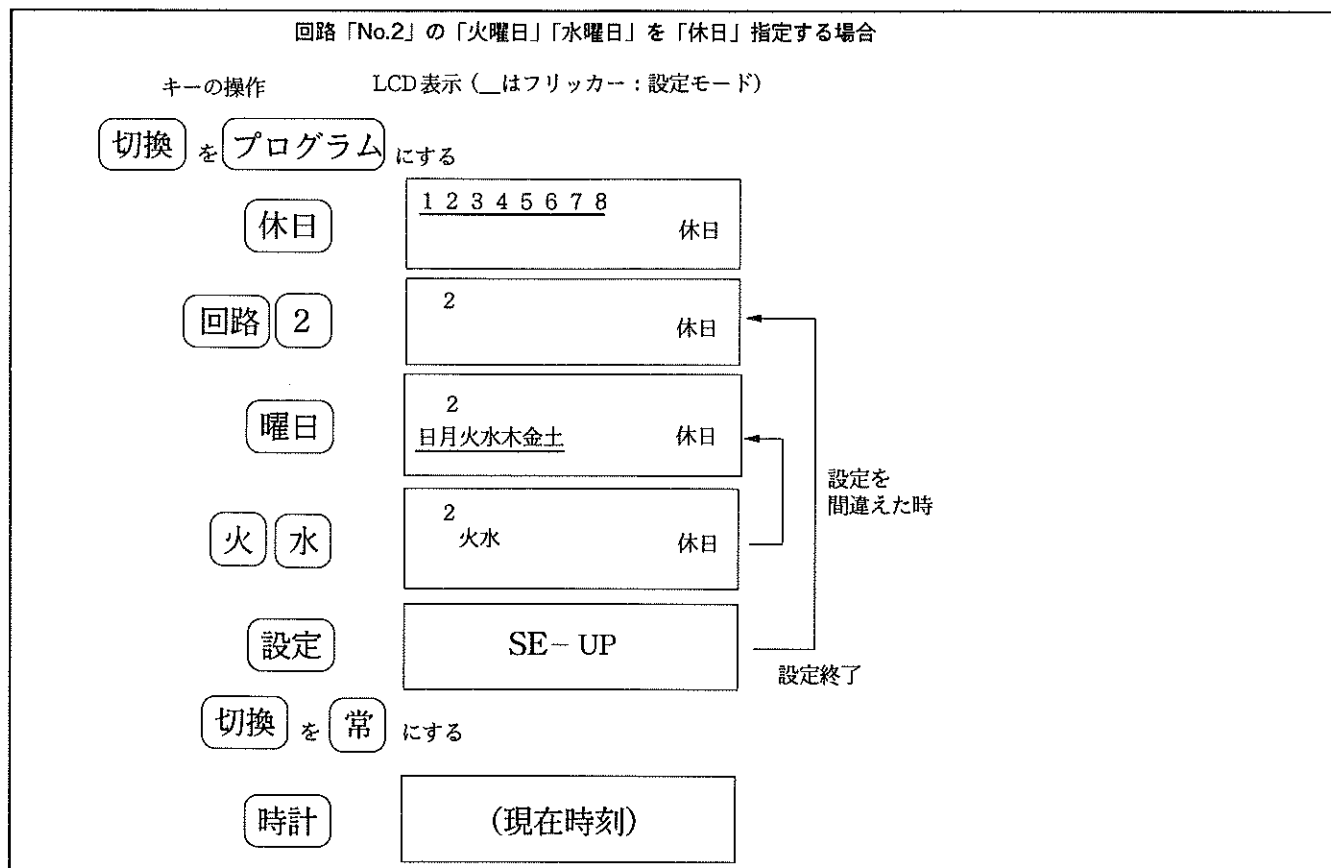
月曜日 火曜日

… 23:00 (入) 1:00 (切) 2:00 (入) 3:00 (切) …

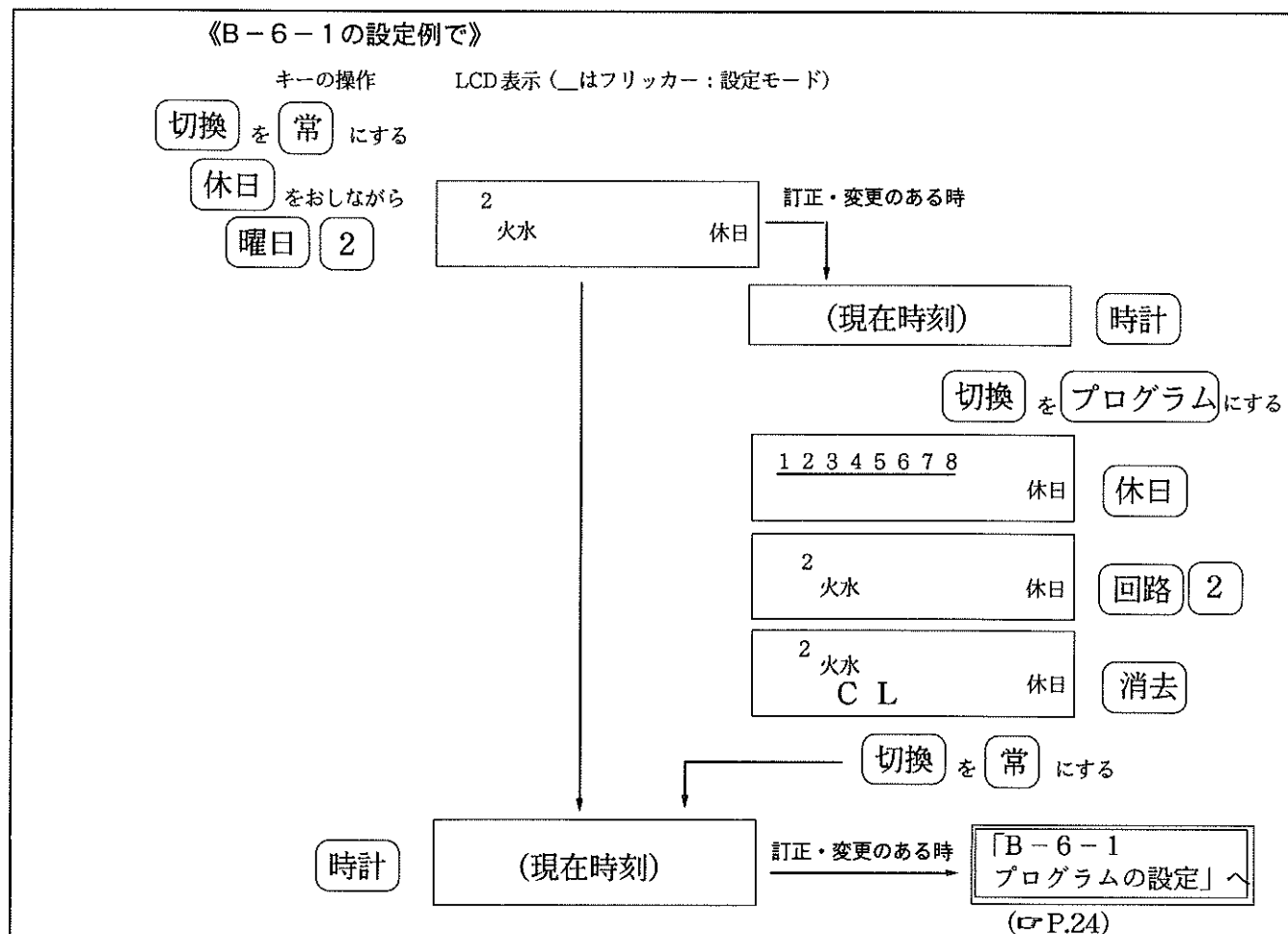
「23:00～1:00」は実行されますが、「2:00～」は実行されません。

・「くり返し」の設定されている回路には、指定できません。

B-6-1 プログラムの設定



B-6-2 プログラムのチェックおよび消去、訂正・変更と追加



B-7 「全回路」のプログラムの消去と確認

キーの操作

LCD表示(_ はフリッカー：設定モード)

切換 を プログラム にする

回路

1 2 3 4 5 6 7 8

全

1 2 3 4 5 6 7 8

消去

1 2 3 4 5 6 7 8

C L

切換 を 常 にする

時計

(現在時刻)

確認

時計 と 1 * を同時におす

SP - 590

* 2 ~ 6 をおしても良い
プログラム残量数を表示

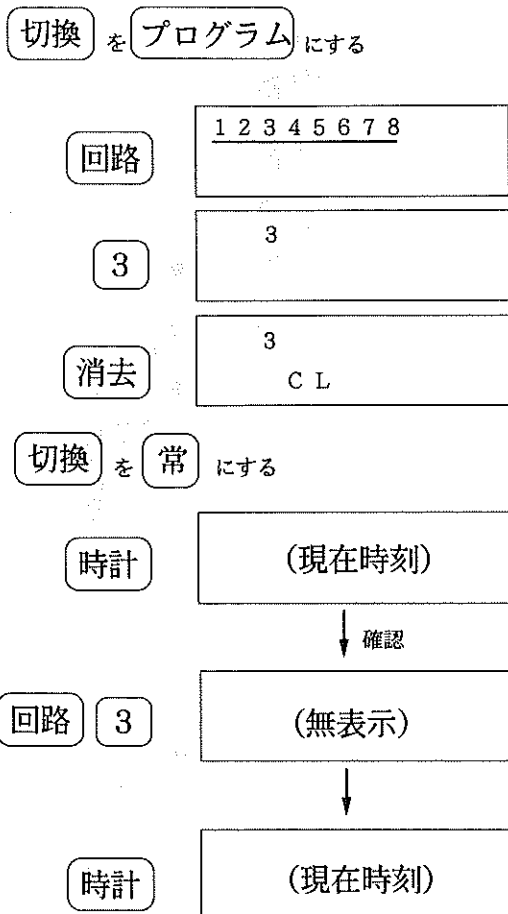
時計

(現在時刻)

B-8 「回路毎」のプログラムの消去と確認

回路「No.3」のプログラムを消去する場合

キーの操作 LCD表示 (_ はフリッカー：設定モード)



6. その他

プログラムメモリー用バックアップ電池

CPU基板 (SUK-77) にメモリー用バックアップ電池のスイッチがあります。

長時間電源を切っておく時は、「S側」にします。

「OFF」です



「ON」です (通常的位置)

プログラム設定表

記入年月日

記入年月日

用途					使用 回路	下の一つを ○ で囲む							
						1 2 3 4 5 6							
	報 時	タイマ	チャイム			●			○				
特 殊	くり返し	吹鳴時間	秒	入時間	切時間								
曜日	日	月	火	水	木	金	土						
設定時刻	○	○	○	○	○	○	○						
(注)	○	○	○	○	○	○	○						
左上の○は、 タイマとして使用する 場合だけ記入する。 「入時間」は●にし、 「切時間」は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						

用途					使用 回路	下の一つを ○ で囲む							
						1 2 3 4 5 6							
	報 時	タイマ	チャイム			●			○				
特 殊	くり返し	吹鳴時間	秒	入時間	切時間								
曜日	日	月	火	水	木	金	土						
設定時刻	○	○	○	○	○	○	○						
(注)	○	○	○	○	○	○	○						
左上の○印は、 タイマとして使用する 場合だけ記入する。 「入時間」は●にし、 「切時間」は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						

プログラム設定表

記入年月日

記入年月日

用途					使用 回路	下の一つを ○ で囲む							
						1 2 3 4 5 6							
	報 時	タイマ	チャイム			●			○				
特 殊	くり返し	吹鳴時間	秒	入時間	切時間								
曜日	日	月	火	水	木	金	土						
設定時刻	○	○	○	○	○	○	○						
(注)	○	○	○	○	○	○	○						
左上の○は、タイマとして使用する場合だけ記入する。「入時間」は●にし、「切時間」は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						

用途					使用 回路	下の一つを ○ で囲む							
						1 2 3 4 5 6							
	報 時	タイマ	チャイム			●			○				
特 殊	くり返し	吹鳴時間	秒	入時間	切時間								
曜日	日	月	火	水	木	金	土						
設定時刻	○	○	○	○	○	○	○						
(注)	○	○	○	○	○	○	○						
左上の○印は、タイマとして使用する場合だけ記入する。「入時間」は●にし、「切時間」は○のままとする。	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						
	○	○	○	○	○	○	○						

SPT-8T・8TE仕様

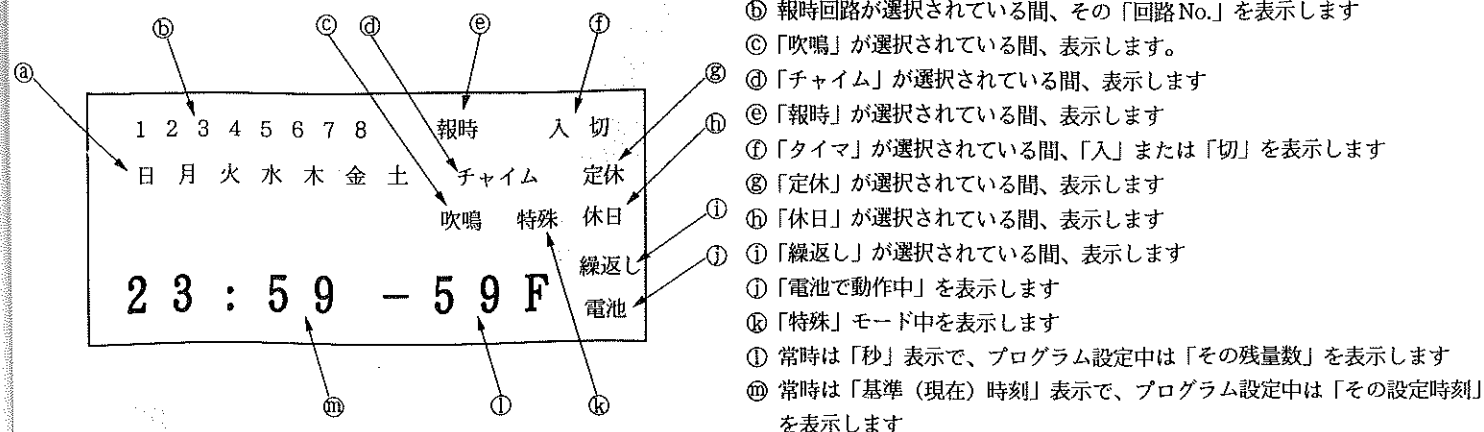
〔型式名〕 壁掛型 SPT-8 T E 外部同期式

水晶発振周波数	4194.304KHz
精 度	週差±0.7秒以内
使用温度範囲	-10℃～+50℃
精度保証温度範囲	0℃～+40℃
入 力 信 号	DC24V30秒または1秒有極信号 (E付の場合)
制 御 方 式	CPU使用 全電子式 回路および時刻の設定はキーによる
設 定 単 位	1週間を1分単位のプログラムおよび1分単位または5分単位の繰返し信号
出力回路数	独立6回路および各回路に15種類の特殊設定が可能
出力動作数	6回路合計590動作または1回路に590動作
報 時 出 力	接点メーク時間 (1秒単位に1秒から59秒まで可変)
タイマ出力	設定時刻から設定時刻まで継続
休 日 設 定	基本設定の変更を行わず任意の曜日を休日扱いにする その曜日を過ぎると自動復帰
出力信号容量	接点メーク信号 (AC125V2A)
時 刻 表 示	曜日、時、分、秒、デジタルLCD表示
秒 調 整	0秒規正方式
入 力 電 源	AC100V±10% 50/60Hz 8W
停電時電源	密閉型ニッケルカドミウム蓄電池内装
電 池 保 護	過放電防止装置付
停電時動作時間	30時間 報時メモリ部1週間
ケ ー ス	鋼板製 300Hx240Wx50D 扉部：クリーム 本体：イエローブラウン
重 量	2.2Kg

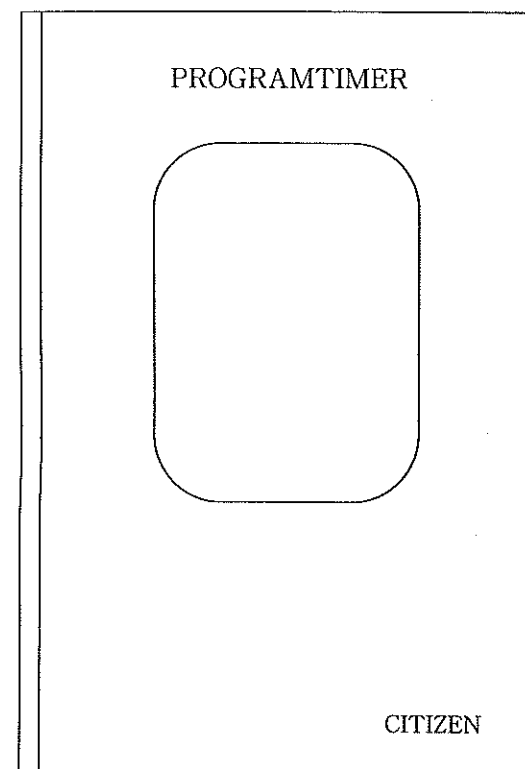
各部の名称と機能

- ① 時刻表示部・・・LCDモニターで曜日、時刻、報時およびタイマ等、プログラムに関する表示をします。(下図参照)
- ② 設定キー・・・切換やプログラムを入力・チェックするキーです。
- ③ 報時信号出力端子・・・1～6回路報時信号出力端子です。
アース端子
- ④ AC入力端子・・・AC100Vの入力端子です。
- ⑤ AC電源スイッチ・・・AC100Vの「切」「断」スイッチとヒューズがあります。
- ⑥ 報時出力操作スイッチ・・・「自動」「断」「手動」の切換えをし、出力を制御します。
- ⑦ 報時出力モニター・・・報時の出力信号が出ているときに、LEDが赤点灯します。
- ⑧ 外部同期信号入力端子・・・外部同期信号の入力端子です。(E付の場合)

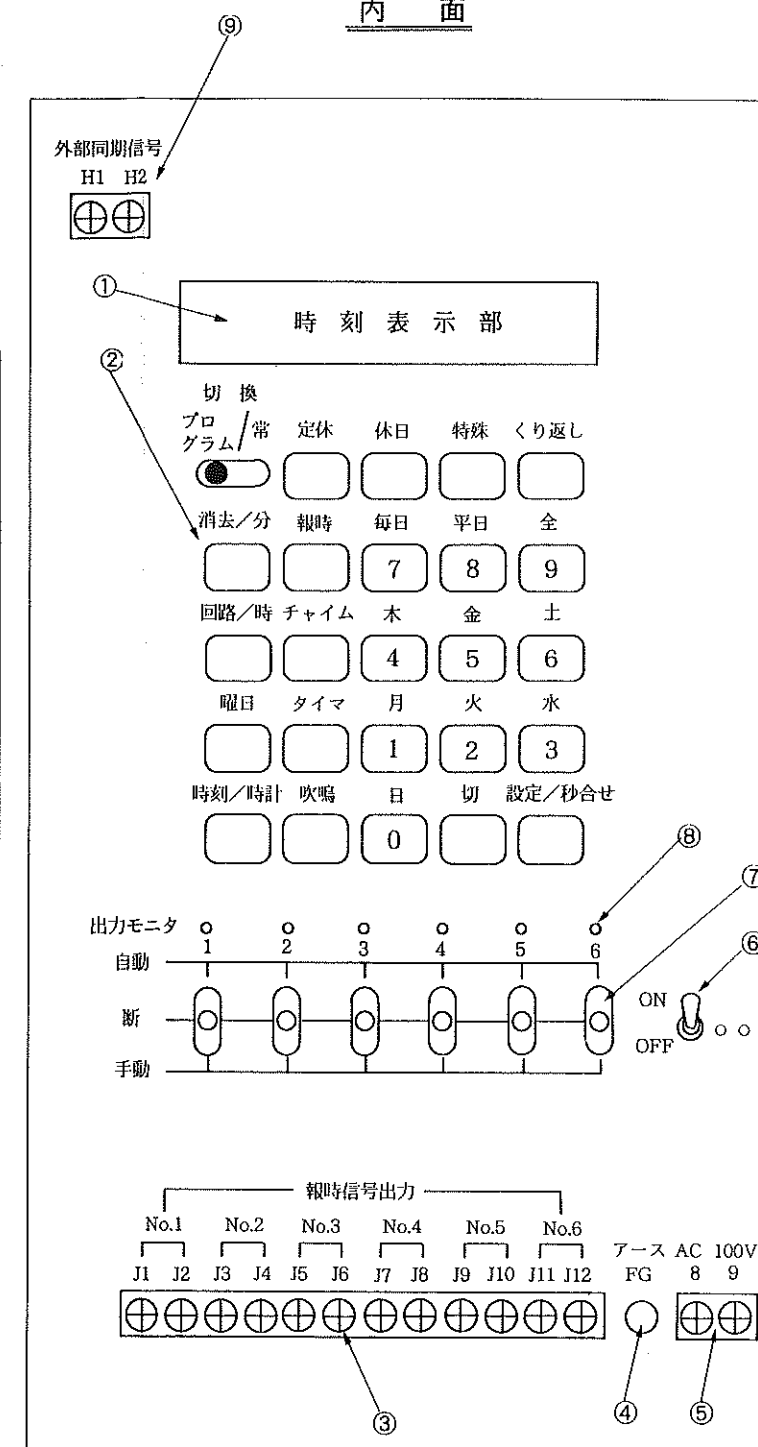
① 時刻表示部



前 面



内 面



プログラムの設定	P.24
「休日」	P.17
「くり返し」	P.14
「チャイム」	P.12
「特殊」	P.21
「特殊の曜日」	P.22
「報時」	P.10
プログラムの設定キーの説明	P.6
プログラムの設定時の注意	P.7
プログラムの設定表	P.27
プログラムのチェック (確認)	
「休日」	P.24
「くり返し」	P.20
「タイマ」	P.16
「チャイム」	P.13
「特殊」	P.22
「報時」	P.11
プログラムの訂正・変更と追加	
「休日」	P.24
「くり返し」	P.20
「タイマ」	P.16
「チャイム」	P.13
「特殊」	P.22
「報時」	P.11
プログラムの入力手順	P.3
プログラムのメモリーバックアップ電池	P.26
「報時」とは	P.9
曜日の指定	P.7

アース	P.1
各部の名称と機能	P.30
「休日」とは	P.23
「くり返し」とは	P.17
結線	P.1
「時刻表示部」の各種表示例	P.4
仕様	P.30
絶縁試験	P.1
「タイマ」とは	P.14
「チャイム」とは	P.12
「定休日」とは	P.7
「定休日」の確認	P.8
「定休日」の変更	P.8
停電の時	P.3
「特殊」とは	P.21
取付・配線上の注意	P.1
入力電源	P.1
プログラムのタイマーの運転方法	P.2
プログラムの回路数および設定回数	P.3
プログラムの「残量数」表示と確認	P.4
プログラムの出力	P.7
プログラムの消去	
「回路毎」	P.26
「休日」	P.24
「全回路」	P.25
その他	
プログラムの変更・訂正	

営業品目

◎タイムコントロールシステム（設備時計）

各種親子時計、マイコン式プログラムタイマー、放送局用時計、
電話局用スピーキークロック、デジタル時計、花時計、塔時計。

◎情報伝達システム

出退・呼出・行先・温度等情報表示システム、官公庁・病院・議場・
劇場等用表示システム、競技用、公営競技場用表示システム。

◎スポーツ計測システム

水泳、スキー、陸上、球技、各種競技用高精度計測表示システム。

株式会社 T.I.C.-CITIZEN

Thinking, Imagining, Creating

本社・東京支店

〒162 東京都新宿区下宮比町2番1号

支店・営業所

〒221 横浜市中区神奈川区松本町4丁目28番1号

☎045 (321) 8344 (代) Fax.045 (321) 8342

〒465 名古屋市中区一社4丁目179番地

☎052 (701) 8291 (代) Fax.052 (701) 8401

〒536 大阪府城東区東中浜8丁目3番20号

☎06 (961) 8663 (代) Fax.06 (961) 8680

〒730 広島市中区八丁堀12番9号 (広島SYビル)

☎082 (228) 6721 (代) Fax.082 (227) 9157

〒810 福岡市中央区平尾1丁目8番24号

☎092 (521) 1300 (代) Fax.092 (521) 1400

〒860 熊本市横手4丁目10番4号

☎096 (356) 4039 (代)

〒060 札幌市北区六条西6丁目2番地

☎011 (746) 3855 (代) Fax.011 (709) 4465

小金井工場

〒184 東京都小金井市前原町5丁目6番12号

☎0423 (83) 2221 (代) Fax.0423 (85) 7727